

IEEE802.11n/a/g/b 対応 無線 LAN アクセスポイント

WHG-NAPG/A 画面で見るマニュアル



もくじ

安全のために	З
使用上のご注意	5

基本設定		7
設置場所、	設置条件について	7
アクセスホ	ペイントを設置する	
基本設定で	をする	

動作モード	16
動作モードについて	16
動作モードを変更する	17
アクセスポイントモードで使う	18
WDS リピーターモードで使う	19
ユニバーサルリピーターモードで使う	21

詳細設定

t	2キュリティ設定	22
	アクセスポイント利用時のセキュリティ設定	22
	WDS リピーター使用時のセキュリティ設定	23
	ユニバーサルリピーター使用時のセキュリティ設定	24
	WPS を利用して無線 LAN クライアントを追加する場合	25
	MAC アドレスフィルターを利用する	26

スケジュール動作	27
スケジュールを作成する	27
スケジュールを削除する	28

ログ情報	
ログを見る	29
Syslog サーバーへ送る	
E-Mail 送信	31
イベント通知	

高度な設定	33
ポートセパレーターを使用する	. 33
VLAN を使用する	. 34
WMM を使用する	. 35
省電力機能を有効にする	. 36

仕様4	2
各部の名前	42
動作環境	14
仕様2	14
出荷時設定	46
ログー覧	48

情報	50
無線丨AN	52
本体設定	62

設定時のトフノル	/0
無線 LAN 接続時のトラブル	74
その他	78

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。 ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。





テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、 たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量(「1500W」などの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない

→ 破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意 ください。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。 長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

AC アダプター・コード・プラグ)について

人が通行するような場所に配線しない



使用上のご注意

本製品全般のご注意

■本製品を使用する上で、以下の注意をご確認ください。

- ・以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
 〇ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 〇工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
 〇特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- ・携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線 LAN 製 品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- ・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。
 本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスが あっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁に それらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用 されていると通信できません。

■本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。

- ■本製品の 5GHz 帯は、屋外で使用しないでください。製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz 帯をご利用ください。法令により、 5GHz 帯の W52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。 5GHz 帯の W56(100~140ch)は法令により屋外での使用が可能ですが、本製品で W56のチャンネルを指定した場合でも、 レーダー波を検出した場合は、屋外で使用が禁止されている W52 や W53 へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。 そのため屋外で使用する必要がある場合は、2.4GHz 帯をご利用ください。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch(W52) と 52,56,60,64ch(W53) と 100,104,108,112,116,120, 124,128,132,136,140ch(W56) です。34,38,42,46ch(J52) の装置との通信はできません。
- W53 (52,56,60,64ch) または W56 (100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) を選択した場合は、 法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11gで通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、 移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DD-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



2.4 :2.4G Hz帯を使用する無線設備を示す

DS/OF :DS-SS 方式および OFDM 方式を示す

:想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す

■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

4

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報

メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)

傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)

コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN 機 器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用に なる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・ データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を廃棄される際のご注意

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。



設定場所、設置条件について

無線 LAN の安定した運用のため、無線 LAN の運用に際して、下記の条件を満たしているかご確認ください。

単一フロア内での設置をおこなう

階や部屋をまたいでの通信は、壁や天井、床などの材質の影響により、無線 LAN の電波が遮断・減衰され安定した運用を妨げる可能性があります。



以下の機器と近接した場所に設置しない

電波の干渉により正常に通信できなくなる場合があります。やむを得ない場合は、該当する機器の電源を切ってください。 FAX/ ステレオ / パソコン / 電子レンジ /Bluetooth/ 他の無線 LAN 親機 /POS システム / 盗難防止装置 / ゲーム機のコントローラー / デジタルコードレス電話 /WiMAX 機器 / コードレスマウス

✓ 箱などにいれたまま設置しないで

電波が遮断・減衰され、安定した運用を妨げる可能性があります。



屋外設置用のケース、 情報配電盤など

✓ 子機を使用する高さより高い位置にアクセスポイントを設置する

机、ラックの上、天井、壁などへの設置をおすすめします。



電波の反射により、正常に通信ができなくなる場合があります。

| 子機はアクセスポイントから 1 m 以上離して設置する

距離が近すぎると電波が飽和状態になるため、正常に通信できない可能性があります。



/ 接続台数を考慮してアクセスポイントの台数と設置位置を設計する

本製品は法人向け無線 LAN アクセスポイントでは最大 50 台(2.4/5GHz 合計)までの同時接続をサポートしますが、同時 に通信する台数が増えると無線 LAN の通信速度が低下します。

同時に通信する台数が 2.4GHz、5GHz の各帯域あたり 10 台を超える場合は負荷を分散するために無線 LAN アクセスポイントの台数を増やすことをご検討ください。



2.4GHz での通信をおこなう場合は 40MHz モードを使用しない

2.4GHz 帯は様々な機器を使用しているため、20MHz モードに比べて 40MHz は干渉の影響が大きくなります。20MHz での運用をおすすめします。

2.4GHz での通信をおこなう場合は 1 ~ 1 1 ch を使用する

12から14chは国際的に使用されないチャンネルのため、ノートパソコン内蔵の無線LANでは使用できない場合があります。

パソコン内蔵を含む、他社製子機との通信をおこなう場合、以下の設定になっているか確認する

●メーカー独自の機能が無効 (バースティング機能(Atheros Super AG、Broadcom Afterburner、その他バースティング機能)、 通信距離の延長機能(Atheros XR))

- RTC/CTS スレショルド、フラグメントスレショルドが無効 (設定がおこなえる場合、設定可能な最大の数値を設定するか、無効に設定してください。)
- ●スリープモードが無効
- ●メーカー提供のデバイスドライバ、ユーティリティーを使用していること

/ 暗号化方法は WPA-PSK(AES) もしくは WPA2-PSK(AES)、WPA-EAP(AES)、WPA2-EAP(AES) を使用する

11n 対応製品では WEP、TKIP を使用すると11a/g のモードとなるため、他の高速な11n 無線 LAN 子機の通信速度に影響を及ぼします。またセキュリティの観点からも WEP、TKIP などの暗号化方法はおすすめしません。

✓ IEEE802.11n 対応製品の場合、IEEE802.11a、11b、11gの製品との混在をおこなわない

混在する場合は11n対応製品の通信速度に影響をおよぼすため、11n対応製品のみでの構成をおすすめします。

2.4GHz と 5GHz を同時に運用する場合

2.4GHz と 5GHz では別々の SSID を設定してください。同じ SSID では 2.4GHz と 5GHz 両対応の子機の場合、意図せず 2.4GHz に接続される可能性があります。

例 1) 2.4GHz と 5GHz の SSID が同じ場合
 2.4GHz の SSID : [SSID A]
 5GHz の SSID : [SSID A]
 ⇒2.4GHz と 5GHz のどちらにつながるかわからない

例 2) 2.4GHz と 5GHz の SSID を別々に設定した場合
 2.4GHz の SSID : [SSID A]
 5GHz の SSID : [SSID B]
 ⇒接続する周波数帯を選ぶことができます

| 子機は可能な限り単―メーカー、単―デバイスに統一して使用する

特に内蔵無線 LAN は同一型番のパソコンであっても製造時期により異なるメーカーのモジュールが搭載されている場合があり ます。無用なトラブルを避けたい、より安定した通信が要求される場合は、同一の無線 LAN 子機を使用することをおすすめし ます。 弊社クイックコネクト HG(AirPort HG シリーズ子機添付)などのサイトサーベイツールで、電波干渉がないチャンネルを 検索してください。

● 2.4GHz で 20MHz モードで動作させる場合

中心チャンネルから±2チャンネル分の干渉がないチャンネルを設定する。他のアクセスポイントが40MHz(チャンネルボンディング)の電波を使用している場合、サブチャンネルの干渉も考慮し、中心チャンネルから-2~+5チャンネルの間に干渉しないようにチャンネルを設定してください。



例)他のアクセスポイントが40MHz動作で3chを使用している場合					
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14					
他の AP					
	使用 AP	→11 チャンネルに設定			

● 5GHz で 20MHz モードで動作させる場合

中心チャンネルが他のアクセスポイントの中心チャンネル、サブチャンネルに重ならないように、設定してください。

例)他のアクセスポイントが20MHz動作で36chを使用して、20MHzで設定する場合						
	36	40	44	48		
	他の AP					
使用 AP →40 チャンネルに設定						

例)伯	也のアクセス	ポイントが	40MHz動作	で36 (40) cl	nを使用して、20MHzで設定する場合
	36	40	44	48	
	他の	AP			
			使用 AP	→44 チャ	ンネルに設定

※自動チャンネル機能で設定をおこなう場合でも、電波干渉がないかの確認をおすすめします。

特に 40MHz に対応していないアクセスポイントの自動チャンネル機能では、40MHz の干渉を考慮せずに設定されてしまうため、手動での確認を推奨します。

干渉の確認の際は、電波の強さだけでなく電波が弱くても無線 LAN の使用率が大きいと干渉が大きくなる場合があります。 可能な限りチャンネル間での干渉を起こさない設定にしてください。

アクセスポイントを設置する

ご注意

●本製品の設定時は、設定用パソコンと本製品を有線 LAN で接続して設定します。

※本製品は、出荷時設定で無線 LAN が無効になっています。



③本製品の DC-IN に AC アダプターを ②本製品の LAN ポートとルーターやハブの LAN ポートを 接続し、コンセントにつなぎます。 LAN ケーブルでつなぎます。



基本設定をする



▼本製品に固定の IP アドレスを設定する場合(設定例)



IP アドレス	本製品に割り当てる IP アドレスを設定しま
	す。
サブネットマスク	導入するネットワークに合わせたサブネッ
	トマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	導入するネットワークのゲートウェイサー
	バーのアドレスを設定
	します。 (ルーターなどの IP アドレスを入
	カします)

ご注意

●本製品のIPアドレスは、設定用パソコンのIPアドレスと同じネットワークアドレス上に設定してください。







5GHz

④設定

設定反映

③選択



動作モードについて

動作モードを周波数帯ごとに「アクセスポイント」、「WDSリピーター」、「ユニバーサルリピーター」、「無効」から選択できます。 ここでは、本製品で設定できる動作モードについての説明します。

アクセスポイント

WDS リピーター

無線で接続(ブリッジ)できます。

通常のアクセスポイントとして使用します。 接続できるのは無線クライアントのみとなります。

WDS(Wireless Distribution System) による

対応アクセスポイントのみ無線接続が可能です。



ユニバーサルリピーター

有効に機能しません。

無線 LAN の間に壁などがあり、無線通信しにくい場合に、 ルーター 本製品を中継点(リピーター)として接続できます。 エリアに存在するネットワーク(SSID)を選択し、 本製品 本製品 (ユニバーサルリピーターモード) (アクセスポイントモード) 接続することで機能します。 ※ IEEE802.1 x 認証ネットワーク内では 使用することができません。 パソコン ご注意

●各モードの通信できる無線機器については、【通信できる無線機器】(44 ページ)をご覧ください。

動作モードを変更する



使用できる組み合わせについて

以下の組み合わせで設定できます。

2.4GHz	5GHz
アクセスポイント	アクセスポイント
WDS リピーター	アクセスポイント
ユニバーサルリピーター	アクセスポイント
アクセスポイント	WDS リピーター
アクセスポイント	ユニバーサルリピーター
アクセスポイント	無効
WDS リピーター	無効
ユニバーサルリピーター	無効
無効	アクセスポイント
無効	WDS リピーター
無効	ユニバーサルリピーター
無効	無効

ご注意

- ●下の組み合わせでは設定できません。
 - ・ユニバーサルリピーターを両方の周波数で設定する。
 - ・WDS リピーターを両方の周波数で設定する。
 - ・ユニバーサルリピーターと WDS リピーターの組み合わせで設定する。

アクセスポイントモードで使う



このあと、セキュリティ設定を行います。 【アクセスポイント利用時のセキュリティ設定】(22 ページ)を ご覧ください。

WDS リピーターモードで使う



【子機側の設定】 WDS クライアント (子機)の設定を行います。 ①無線機能を[有効]にします。 ② SSID 名とチャンネルを設定します。 ※設定した SSID 名、チャンネルは WDS アクセスポ イント(親機)側でも同じ値を設定しますので、メモ してください。 設定内容については、【●基本設定(WDS リピー ター)】(53ページ)をご覧ください。 ③ WDS モードで [WDS クライアント] を選択します。 ④接続する WDS アクセスポイントの無線側 MAC ア ドレスを入力します。 ※接続相手のアクセスポイントが 5GHz、2.4GHz の両方に 対応している場合は、通信する方の MAC アドレスを登録し てください。 ⑤入力後、[設定]ボタンをクリックします。



MAC アドレスの登録設定	
親機 子機の MAC アドレスを登録します。 子機 親機の MAC アドレスを登録します。	

WDS クライアント (子機)側の設定画面から、[情報] をクリックし、WDS クライアント(子機)側の MAC アドレスをメモします。





5

【親機側の設定】
WDS アクセスポイント (親機) の設定を行います。
① WDS アクセスポイント (親機) 側の設定画面を
開きます。
②無線機能を [有効] にします。
③ WDS クライアント(子機)側に設定した SSID 名、
チャンネルにあわせ設定します。
設定内容については、【●基本設定(WDS リピー
ター)】 (53 ページ) をご覧ください。
④手順4 でメモした WDS クライアント (子機) の
MAC アドレスを入力します。(最大 4 台まで登録で
きます。)
※接続相手のアクセスポイントが 5GHz、2.4GHz の両方に
対応している場合は、通信する方の MAC アドレスを登録し
てください。
⑤入力後、[設定]ボタンをクリックします。



このあと、セキュリティ設定を行います。 【WDS リピーター使用時のセキュリティ設定】(23ページ)を ご覧ください。

ユニバーサルリピーターモードで使う



セキュリティ設定

アクセスポイント利用時のセキュリティ設定



[セキュリティ]をクリックし、設定を変更する周波数 2 帯のタブをクリックします。 ②設定する方をクリック 情報 無線LAN ▶ 動作モート 2.4GHz 5GHz ▶ 基本設定 SSID STA > wps 有効 🔽 WEP >フィルゔ- Open System
 Open Syst VLAN ①クリック 64-bit NMM 🔁 16進数 (10 文字) 🔽 ▶ 高度な設況 暗号キー 1 🔽 IEEE802.1x認証を使用する

暗号化方法を選択し、設定します。 3 設定内容については、【●セキュリティ】 (57 ページ) を ご覧ください。

▼WEP を使用する場合



▼ IEEE802.1 x 認証 WEP を使用する場合 2 4GL 5GHz モード・アクセスポイント -F:WDSUP-無線LANセキュリティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの培号キーの設定と、IEEE802.1x、WPA-EAP、 WPA2-EAPのRadius関連の設定が可能です。 AirPort 👻 SSID STA 有効 🖌 WEP ~ ⊙ Open System ○ Shared Key 64-bit 💌 TEFE802 1x辺証を使用する チェック 設定 ※クライアント側も IEEE802.1 x 認証に対応している必要がありま す。 ※別途、認証サーバーが必要です。 ▼ WPA-PSK/WPA2-PSK を使用する場合 5GHz モード:ユニバーサルリピーター モード・アクセスポイント 無線LANセキュリティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの暗号キーの設定と、IEEE802.1x、WPA-EAP、 WPA2-EAPのRadius間違の設定が可能です。 AirPort SSID STA 有効 🖌 WPA-PSK/WPA2-PSK WPA&WPA2(TKIP&AES) d Key 入力方注・ ASCII(8-63文字) 🗸 更新しない 🗸 設定 ※クライアント側も WPA-PSK、WPA2-PSK に対応している必要が あります。 ▼ WPA-EAP/WPA2-EAP を使用する場合 2.4GHz 5GHz モード:ユニバーサルリピーター 無線LANセキュリティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの暗号キーの設定と、IEEE802.1x、WPA-EAP WPA2-EAPのRadiu問題の設定が可能です。 AirPort 🖌 🗸 SSID STA 有効 🗸 WPA-EAP/WPA2-EAP WPA&WPA2(TKIP&AES)

* 1812 更新しない 🔽 設定 ※クライアント側も WPA-EAP、WPA2-EAP に対応している必要が

あります。

※別途、認証サーバーが必要です。

設定

WDS リピーター使用時のセキュリティ設定





3 WDS 暗号化設定の [実行] ボタンをクリックします。

▼ WDS アクセスポイントの場合



▼ WDS クライアントの場合





これで設定は完了です。

ユニバーサルリピーター使用時のセキュリティ設定



4 接続する「ネットワーク名(SSID)」、「ポートセパレー ター」、「SSID 通知」、「接続先 MAC アドレス」、「暗 号化方法」を設定し、[設定]ボタンをクリックします。 ※ユニバーサルリピーター使用時は WPA-EAP/ WPA2-EAP は使用できません。

	S2.200.0.4/ Walcasettinga.htm		
ユニ/ 定がす	「ーサルリビーターの無線LANセキュ 可能です。	リティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの町	音号キーの設
	アクセスポイントプロフ	フ <u>ァイル設定</u>	
	ネットワーク名 (SSID):	AirPort	
	ポートセパレーター:	STA	
	SSID通知:	有効 👻	
	接続先MACアドレス:	◎ 有効 ◉ 無効	
	暗号化方法:	無効・	
	/		設定
(①設定		
		20090	

これで設定は完了です。

WPS を利用して無線 LAN クライアントを追加する場合

※ WPS : Wi-Fi PROTECTED SETUP

1





[WPS]をクリックし、WPS(Wi-Fi PROTECTED



З

2

WPS を 「有効」 にし、「 設定] ボタンをクリックします。







プッシュボタンを利用した WPS 設定

無線 LAN クライアント側もプッシュボタンでの WPS 設定 に対応している場合、本体の WPS ボタンを押すと、WPS 設定を行えます。(【各部の名前】(42ページ)参照) 本製品を天井や高所などに設置していて、物理的にボタンを 押すことが難しい場合、設定画面上から、「WPS 開始]ボタ ンを押と、プッシュボタンを利用した WPS 設定を設定画 面上から実行できます。

ブッシュボタンを利用したWPS設定



MAC アドレスフィルターを利用する

登録した機器(MAC アドレス)のみから接続可能なよう、フィルタリングを施すことができます。



[フィルター]	をクリックし、MAC アドレスフィルター
機能を使用する	5周波数帯のタブをクリックします。
無線LAN	──₩ ②設定する方をクリック
 動作モード 基本設定 	2.4GHz モード:フクセスポイント モード:ユニバーサルリピーター
 WPS セキュリティ 	無線LAN MACアドレスフィルター 極敏を使うと、全体したMACアドレスを持っ株器のみ後紙可給にします。
> 7414-	無線LAN MAC7FL/スフィルシー名能を有効にする ○ 有効 ○ 無効 説明 MAC7FL/ス
	クリック
	以下のMAC7Fレスのみが接続可能です:
	No. 説明 MACプドレス 透訳 所能 全て谷印政 ソセット <
	設定

2

③機器に関するコメントを入力してください。
 ②接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。
 ※半角英数字のみ入力可能です。
 ③入力後、[追加]ボタンをクリックします。
 ※ MAC アドレスは続けて 12 桁入力します。
 (間に "-" や": "を入れない)



4 [無線 LAN MAC アドレスフィルター機能を有効にする]を[有効]にし、入力した内容が表示されていることを確認して、[設定]ボタンをクリックします。



これで設定は完了です。

スケジュール動作

「無線の on/off」、「ログメール通知(E-Mail)送信」、「再起動」をスケジュールで実行することができます。

スケジュールを作成する



スケジュールを削除する

1



2 [スケジュールリスト]をクリックし、削除したい項目の[削除]ボタンをクリックし、[設定]ボタンをクリックします。
※[削除]ボタンを押した後、[設定]ボタンを押さないと設定は反映されません。



3 スケジュールが削除されたことを確認します。



ログ情報

本製品のシステムログについて、ログ情報の閲覧、Syslog サーバーへの保存、E-Mail 送信、イベントログ通知の機能があります。

ログを見る

	き、[情報]	をクリッ	クします	0
■ クリック ■ ■ 199	Image Image 12 10 <t< th=""><th>RABAN</th><th>本体态定</th><th><u>רידעם</u></th></t<>	RABAN	本体态定	<u>רידעם</u>
Al rights sourced.				(辞辞) (2U7) 更新 🚽
2 [ログ]をクリ →ログが表示さ	ックします されます。	0		
2 [ログ]をクリ →ログが表示さ	ックします。 されます。 1111 ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー	0 #\$\$\$LAN \$\$757560 :] 本体該定	<u>ログアウト</u> へ

	パソコン上に保存します。
[クリア]ボタン	ログ表示内容を削除します。
[更新]ボタン	ログ表示内容を最新の情報に更新します。

ログについては、【ログ一覧】(48ページ)をご覧ください。

Syslog サーバーへ送る

本体設定 本体設定 特別設定 スクジュール設定 ログ語知识定	情報 無線LAN 本体設定 ログアウト ログ クリック 客室町前加辺に、器室町ってびさい。 ロジークレック 客室町前加辺に、器室町ってびさい。 ロジークロ・ション ご用い ○日本 ○日本 ロジークロ・ション ご用い ○日本 ○日本
 SNMP その他の政策 システム政策 ファームウェア 管理者/12ワード 	2019X-1977FUX1 192 1168 0 1250 - 新知道理想: ○ 和功 ② 新助 イベンド語論: ○ 和功 ③ 新助



[ログ通知設定]をクリックし、システムログを [有効] にし、システムログを送信する Syslog サーバーの IP アドレスを入力し、[設定] ボタンをクリックします。



E-Mail 送信

設定画面を開	開き、[本体設]	定]をクリックします。
本体設定 HELNARE HELNARE HOLNARE J792→1482 J792→482 SNAC C792=022 SNAC C7028E Z77428E J77-428E J77-428E J77-428F J77-428F J77-428F J77-428F J77-428F	情報 マジック マフレーマー マフレーマー マフリーズー マフリーズー マフリーズ ドーベー マース・アレス: マース・アレス: マース・アレス: マース・アレス: ドーベー マース・マレス: マース:	加速LAN 本体認定 ログアウト ・ **体認定 助金額 ・ **体認定 助金額 ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ・ ** ・ ** ** ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *

2

1

[ログ通知設定]をクリックし、E-Mail 送信を[有 効]にし、SMTPサーバーアドレス、SMTPポート、 SMTP 認証設定、送信先の E-Mail アドレス、送信元 となるアドレスを入力し、[設定]ボタンをクリックし ます。



イベント通知

1

2



[ログ通知設定]をクリックし、イベント通知を[有効] にし、イベント内容を選択します。

無須 つぜ	シーマー シーノー シール シール シール シール シール シール シール シール シール シー
	取た凹回から、もしてはスクシュール動
	作で無線をoffにした際に、「off」になっ
	たことを通知します。
無線 on	設定画面から、もしくはスケジュール動
	作で無線を on にした際に、「on」になっ
	たことを通知します。
ログメール通知	ログメール通知の E-Mail 送信が行われ
	た際に、メールが送信されたことを通知
	します。
	※ E-Mail 送信設定が正常に行われている必
	要があります。(【E-Mail送信】(31 ページ)
	参照)
再起動	再起動動作が発生した際にメールで通知
	します。
エラー発生時	本製品になんらかのハードウェアエラー
	が発生した際にメールで通知します。
スケジュール動作時	作成済みのスケジュールが実行された際
	に、スケジュール動作が発生したことを
	通知します。
	※スケジュールリストにスケジュールが登録
	されている必要があります。(【スケジュー
	ルを作成する】(27 ページ)参照)



3 SMTP サーバーアドレス、SMTP ポート、SMTP 認 証設定、送信先の E-Mail アドレス、送信元となるアド レスを入力し、[設定]ボタンをクリックします。





高度な設定

ポートセパレーターを使用する

無線 LAN クライアント同士の通信を制限する機能を有効にします。 特にホットスポットなど、不特定ユーザーに無線を公開する場合に使用します。





3

ポートセパレーターの [SSID] または [STA] にチェッ クをつけ、[設定] ボタンをクリックします。



SSID ベースのポートセパレーターとは? SSID を単位として、他の SSID に属する機器から接続が行 えないように隔離します。 ※ SSID ごとに有効、無効の設定はできません。 SSID 1 SSID 2 ОК - ОК 本製品 î OK OK OK ΟK NG -) (|

STA ベースのポートセパレーターとは?

SSID 内で、その SSID に属するクライアント個々の接続をできな いようにします。



※ [SSID] と [STA] のポートセパレーターは、併用することができます。 ただし、各クライアントは、有線 LAN 側の接続のみ可能となります。

VLAN を使用する

NMM 🤇

▶ 高度な設定

タグ VLAN とは、フレームのヘッダー部分に VLAN の識別番 号を記すことでグループ分けする方法です。 ※動作モードの組み合わせで、どちらかの周波数帯に「WDS リピー ター」もしくは「ユニバーサルリピーター」が含まれている場合は、 SSID 1 VLAN 機能は使用できません。 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。 1 Δ 情報 無線LAN 本体設定 ログアウト ▶動作モート 5GHz クリック ▶ 基本設定 > WPS IEEE802.1Q9グVLANの設定を行います。SSID番にVLAN IDを設定してください。 ▶ セキュリティ > フィルター ⊙有効 ○無対 ▶ 時刻設定 (1~4094)

(1~4094)

(1~4094)

(1~4094)

設定







本製品 6 SSID1 SSID2 SSID 2 VLAN ハブでタグ VLAN のみを通信させる場合、 [本体設定]をクリックし、[その他の設定]をクリック します。 無線LAN 本体設定 ログアウト 情報 本体設定 ▶ 有線LAN設定 (1)クリック WHG-NAPG/A ②クリック 有効 4094 (1~40 ◎有効 ⑧無効 ○ 有功 ④ 兼功 ▶ システム設定 ○ 有功 ④ 無効 ○有劝 ④無効 > ファームウェア ◎有効 ⑧無効 ▶ 管理者バスワード ◯有効 ◎無効 • 有効 〇 無効 ●有効 ◎無効 設定 [管理用 VLAN 設定] で [有効] を選択し、VLAN ID 5 を割り振り、「設定」ボタンをクリックします。 ※この時、既に無線 LAN 側で使用している VLAN ID と同じ ID は割り振ることができません。 情報 **無線LAN** 本体設定 ログアウト 本体設定 ► 有線LAN設定 ①設定 ▶ 時刻設定 ▶ スケジュール設定 ⊙ 有効 4094 (1~4094)〇無効 ▶ ログ通知設定 ○本計 ● 毎か SNMP ○ 有効 ④ 胃効 ○有効 ● 無効 ▶ システム設定 有効 ③ 無効 ▶ ファームウェア 有効 ③ 無効 ▶ 管理者バスワード 有効 ③無効 ◉有効 ◯魚効 ◉有効 ◯黒効 ●有効 ○無効 ②クリック これで設定は完了です。

WMM を使用する

無線での QoS(Quality of Service) を有効にします。動画、 音声など特定のパケットに対して、優先的に構成を確保します。 ※通常は、画面内の設定を変更する必要はありません。

2 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。







3 必要に応じて設定を変更し、[設定]ボタンをクリックします。
※通常は設定を変更する必要はありません。
※各項目の詳細は、【● WMM】(60 ページ)をご覧ください。



これで設定は完了です。

省電力機能を有効にする

1

無線LAN	情報	無線LAN 本体設定	ログアウト
bhftt-r 基本設定 ク	リック 🎽		5GHz モード:アクセスポイント
2WPS	無線LANに関する高度な設	定を行います。通常は設定を変更する必要はありません。	
> フィルター	フラグメント酸値:	2346 (256-2346)	
VLAN	RTS関値:	2346 (1-2346)	
WMM	ビーコン問題:	100 (20-1000 ms)	
高度な設定	DTIN送信間隔:	1 (1-255)	
	11n データレート:	自動 🖌	
	プリアンブル :	◎ロンガオリアンプル ◎ショートオリアンプル	
	CTSプロテクション:	④自動 ○ 粕に ○なし	
	送信出力 :	100 %	
	省電力モード:	◎ 煮効 ◎ 無効	
	接続台数制限:	128 (1-128)	

設定画面を開き、[無線 LAN]をクリックします。



3 [省電力モード]で[有効]を選択し、[設定]ボタンを クリックします。



これで設定は完了です。

省電力モードの仕組み

ー定時間無線通信がない場合、無線の休止間隔を自動でつくり、消 費電力を抑えます。

無線 LAN クライアント側からの接続があった場合には、自動的に on に復帰します。


時刻を設定する

システムの現在の時間を手動または NTP サーバーから設定できます。

スケジューリング機能、ログ、E-Mail でのイベントログ送信機能を使用する場合、時刻を正しく設定してください。





手動で設定する場合

[タイプ]で「Real Time Clock(RTC)」を選択します。
 [日付]、[時刻]を入力します。
 ※[PCの時刻を設定する]ボタンを押すと、お使いのパソコンから時刻情報を取得できます。

③[設定]ボタンをクリックします。



NTP サーバーから時刻情報を取得する場合 [タイプ]で[NTP]を選択します。 ②参照するタイムサーバーの設定をします。 参照先のタイムサーバーはプルダウンメニューから選択で きます。 任意で指定する場合は、手動設定にチェックをつけ、タイ ムサーバーのアドレスを入力します。 ③[設定]ボタンをクリックします。 ログアウト 無線LAN 本体設定 情報 本体設定 ▶ 有線LAN設定 ①選択 システムの現在の時間を手動、もしくはNTPサーバーから設定が可能 フケジューリング機能、ログ、E-Mailでのイベント、ログ送信機能を使用 > スケジュール設定



設定を保存 / 復元する





1

[システム設定]をクリックします。



設定を保存する場合

[保存]ボタンをクリックし、保存先を選択します。 config.dlf というファイル名で設定が保存されます。



設定を復元する場合

[設定を保存する]で書き出した設定情報を復元できます。 ①[参照]ボタンをクリックし、ファイルを指定します。 ②[復元]ボタンをクリックします。 これで設定が復元されます。



初期化する

ご注意 ●以下の作業を行うと、本製品のすべての設定が出荷時状態に戻ります。ご注意ください。 設定画面を開き、[本体設定]をクリックします。 1 情報 無線LAN 本体設定 ログアウト 本体設定 ▶ 有線LAN敏度 クリック > 時刻設定 ▶ スケジュール酸 ▶ メール通知設定 ·参照... 復元 実行 SNMP ▶ その他の設定 ▶ ファームウェア ▶ 管理者バスワード [システム設定]をクリックし、[出荷時設定に戻す]の 2 [実行]ボタンをクリックします。 情報 無線LAN 本体設定 ログアウト 本体設: ▶ 有線LAN設定 設定の保存、復元が行えます。 ▶ 時刻設定 ▶ スケジュール酸素 保存 >メール通知設定 **参照**... 復元 SNMP ▶ その他の設定 ②クリック >ファームウェア ▶ 管理者バスワード ①クリック 以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリッ З クします。 Web ページからのメッセージ X ? 出荷設定に ですか? クリック ΟK キャンセル しばらくお待ちください。初期化には 45 秒程度かか 4 ります。 「初期化中です、あと口秒お待ちください。」とカウン トがとまったら初期化は完了です。

Web ブラウザーを終了し、「Magical Finder」で IP

アドレスの設定を行ってください。



ファームウェアを更新する

٦	ファームウェアファイルをダウンロードします。 最新のファームウェアファイルは、弊社ホームページを
	ご確認ください。(http://www.iodata.jp/lib/)
2	設定画面を開き、[本体設定]をクリックします。
	本株設定 ログアウト 本株設定 ログアウト 本株設定 ログアウト 本株設定 アー・クリック、C (928)、 アー・ムウェアバーション: アー・ムウェアバーション: アー・ムウェアバーション: アー・ムウェアバーション: マー・ムウェアバーション: アー・ムウェア・ション:
З	[ファームウェア]をクリックし、[参照]ボタンをクリッ クして更新するファームウェアファイルを選択後、[設
	定]ボタンをクリックします。

あとは画面の指示にしたがってください。

情報 無線LAN 本体設定 ログアウト 本体設定 ▶ 有線LAN設定 1999 - 1999 - 1 ファームウェアファイルを選択後、【設定】ボタンをクリックしてください。 ▶ スケジュール 穀定 ②クリック ファームウェアパージョン: ファームウェアファイル ▶ メール通知設定 SNMP ▶ その他の続定 設定 >>ステム設定 ③クリック ▶ 管理者バスワー ①クリック

管理者パスワードを変更する





これで設定は完了です。

仕様

各部の名前

上面

	3秒以上押し続ける	と、WPS ランプが青点滅します。青点滅中にボタンを離すと 5GHz 帯無線の WPS が			
	作動します。				
UWPS TAY	約10秒間押し続ける	ると、WPS ランプが青点滅から橙点滅に変わります。橙点滅中にボタンを離すと 2.4GHz			
	帯無線の WPS が作動します。				
	消灯	通常動作状態			
	青点滅	5GHz 帯 無線 LAN WPS 待機状態、WPS 接続動作中			
	青点滅→青点灯	5GHz 帯 無線 LAN WPS 接続成功			
② WPS ランプ	青点滅→速い青点滅	5GHz 帯 無線 LAN WPS 接続失敗			
	橙点滅	2.4GHz 帯 無線 LAN WPS 待機状態、WPS 接続動作中			
	橙点滅→橙点灯	2.4GHz 帯 無線 LAN WPS 接続成功			
	橙点滅→速い橙点滅	2.4GHz 帯 無線 LAN WPS 接続失敗			
	消灯	電源 OFF			
③ POWER ランプ	点灯	電源 ON(動作中)			
	点滅	起動 / 再起動中、初期化中、ファームウェア更新中			
	消灯	2.4GHz 帯 無線 LAN 停止中			
④ 2.4GHz ランプ	点灯	2.4GHz 帯 無線 LAN 動作中			
	点滅	2.4GHz 帯 無線 LAN 通信中			
	消灯	5GHz 帯 無線 LAN 停止中			
⑤ 5GHz ランプ	点灯	5GHz 帯 無線 LAN 動作中			
	点滅	5GHz 帯 無線 LAN 通信中			
	消灯	通常動作中			
0 3 1A 1 03 7 7 7	点滅	ファームウェア更新失敗			
	消灯	有線 LAN リンクなし			
② LAN ランプ	点灯	有線 LAN リンク中			
	点滅				



①アンテナ端子	添付のアンテナを接続します。
2 DC-IN	添付の AC アダプターを接続します。
③ RESET スイッチ	本製品の設定を出荷時設定に戻します。【初期化する】(39 ページ)をご覧ください。
	パソコンやハブ(ローカルネットワーク側)を接続するためのポートです。
	1000BASE-T まで対応の有線リンク速度を自動認識します。接続された LAN ケーブルが「ストレート」
	か「クロス」かを自動認識します。
④ PoE/LAN ポート	また、本製品は PoE(IEEE802.3af、IEEE802.3at)の受電にも対応します。
	※ PoE で動作させる場合は、② DC-IN に AC アダプターは接続しないでください。
	※動作確認済み PoE 給電スイッチは、弊社ホームページをご確認ください。
	(http://www.iodata.jp/ より、製品型番を検索の上、「仕様」をご確認ください。



天井キットを固定するためのネジ穴です。
※天井キットの取り付け方法は、【本製品を天井に取り付ける場合】(12 ページ)をご覧ください。
天井キットや本製品を壁に取り付けるための穴です。
※壁への取り付け方法は、【本製品を壁に取り付ける場合】(12 ページ)をご覧ください。

動作環境

通信できる無線機器

IEEE802.11n/a^{*}、IEEE802.11n/g/b 準拠の無線 LAN 製品と通信できます。 ※ J52 チャンネルのみ利用可能な無線 LAN 機器とは通信できません。 (モードについては、【動作モードについて】(16 ページ)をご覧ください。)

- ●本製品をアクセスポイントモード(出荷時設定)で使用する場合
 IEEE802.11 n/a、IEEE802.11 n/g/b 準拠の無線 LAN アダプター
- ●本製品を WDS リピーターモードで使用する場合 WHG-NAPG/A の WDS リピーターモード WDS アクセスポイント(親機)1 台に対し、WDS クライアント(子機)4 台まで接続できます。
- ●本製品をユニバーサルリピーターモードで使用する場合

アクセスポイントIEEE802.11n/a/g/b 準拠の無線 LAN アクセスポイント無線 LAN アダプターIEEE802.11n/a、IEEE802.11n/g/b 準拠の無線 LAN アダプター

本製品の設定ができるパソコン

LAN アダプターが使用でき、以下の OS を搭載した機種 Windows® 8.1(32/64 ビット版) Windows® 8(32/64 ビット版) Windows® 7(32/64 ビット版) Windows Vista®(32/64 ビット版) Windows® XP Windows® 2000 Mac OS X(10.4 以降)

使用可能なプロトコル

TCP/IP (IPv4、IPv6)

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のバージョンの Web ブラウザーが必要です。お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。 Windows で設定する場合:Internet Explorer バージョン 6.0 以上 Mac OS X で設定する場合:Safari バージョン 3.0 以上

仕様

商品名	IEEE802.11n/a/g/b 対応 無線 LAN アクセスポイント			
製品型番	WHG-NAPG/A			
無線 LAN 部				
対応担权	有線部	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T		
入山心天光1谷	無線部	IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n(2.4GHz/5GHz)		
<i>年</i> 泊日:12数世紀	IEEE802.11a, n	5.15 ~ 5.35GHz(W52,W53), 5.47 ~ 5.725GHz (W56)		
黑颜向/仪致帝哟	IEEE802.11b, g, n	2.400 ~ 2.484GHz		
	IEEE802.11a, n	[W52] 36,40,44,48ch(オートチャンネル動作時)		
	(5GHz)	[W53] 52,56,60,64ch		
無線チャンネル		[W56] 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch		
	IEEE802.11b, g, n	1~13ch(オートチャンネル動作時は、1~11ch)		
	(2.4GHz)			

/──//////////////////////////////////	IEEE802.11b	DS-SS[DBPSK/DQPSK/CCK]					
無線変調力式	IEEE802.11a, g, n	OFDM[BPSK/QPSK/16QAM/64QAM]					
		LAN: 1000Mbps	(1000BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)、10Mbps(10BASE-T)				
		IFFF80211b	最大 11 Mbns				
		IFFF80211a/g	最大 54Mbps				
 デーク転送速度(理論値)		IFFF802.11n	最大 1 30Mbps (20MHz 幅チャネル時)				
リータ私区述反(培酬値)							
	※ まーの粉値は、大制の		取入 300110105 (40111172 1個アヤイル1月) 繊密をの通信を行ったときの理論をの見士値であり、史際のデーク転送速度を				
	※ 衣小の奴値は、 半表回	回と回寺の(隅化行う)	に成品との通信を1」フルとさの理論上の取入値でのり、美院のノーク転送速度を				
	示すものではありませ						
	WEP (64 / 128 bi	t)、WPA-PSK(IK	IP / AES)、WPA-EAP(I KIP / AES)、WPA2-PSK(AES)、				
無線 LAN セキュリティ	WPA2-EAP (AES)、	IEEE802.1x (別途	、認証サーバーが必要です)、MAC アドレス接続制限、ポートセパレーター、				
	SSID 非通知機能						
	FAP-TI S. PFAP (N		C), EAP-TTLS (MS-CHAPV2 / MS-CHAP / PAP / CHAP).				
対応 EAP 方式							
		APV2 / GTU) + # / #					
アフテノ 毎泊」 ANI 動作士 - ド	2.4GHZ/3GHZ %MJI.		× 2(ROMA コインダ× 2 拾戦) = が、サルリピーク、エード				
	アクセスホインドモー		_//-//////////////////////////////////				
			·磯 (2.4GHZ/5GHZ 合計)				
	WUSUE-y-t-i	WDS POEX	ホイントに対して、WDSシライアント最大4台				
毎線」ANIに接続できる		WDS クライア	ントのアクセスポイント 最大 20 台の子機 (2.4GHz/5GHz 合計)				
	ユニバーサルリピーター 最大 20 台の子機 (2.4Ghz/5Ghz 合計)						
機器の台数		リピート段数は1段まで					
	※同時に通信する台数	※同時に通信する台数が 2.4GHz, 5GHz の各帯域あたり 10 台を越える場合は、 自荷を分散するために 無線 L AN アク					
	セスポイントの台数を†	善やすことをおすすめ	いたします				
		uto Nogotiation	Nuto MDI/MDI X PoE 対応)				
	108495-T	はし Negotiation, A マンチェフタ符号					
有線伝送符号方式	100RASE-TX	18/58+MIT-3					
	1000BASE-T	881.04					
	IFFF802.3af, IFFF802.3at						
PoE							
	※動作確認済み PoE 給電スイッチは、弊社ホームページをご確認ください。						
	(http://www.iodata.jp/ より、製品型番を検索の上、「仕様」をご確認ください。						
フローコントロール	Back Pressure (Ha	llf-duplex 時)、IEEI	E802.3x(Full-duplex 時)				
MAC アドレステーブル	1024(有線部)						
エージングタイム	30 秒						
ジャンボフレームサイズ	対応なし						
その他機能	SpanningTree (802.1D)、VLAN(IEEE802.1Q)						
管理機能							
SNMP	SNMP Agent v1/v2	2/v2c、SNMP Tra	o/Notification、MIB-II、InterfaceMIB				
その他	Syslog						
一般仕様							
電源	AC	DCT2V /OOmA					
	POE	DC36~5/V (typ	48V)/9.1w(最大)				
「動作温度範囲」							
期作 本没 电 出	I U ~ どつか(結路しないこと)						
[床1子////////////////////////////////////							
1本1子/业)支配団 ム 形士汁							
クトルシリム 哲景 (木休のみ)	/ハン < ∠∪(VV) ^ 14U(U) ^ 3U(Π) ※天旭副召ま 9 約 260g						
良里(平旧のの) 哲島(細句時)							
良里(110时) 仅証期問							
[[水皿:57][1] 	し + RoHS 指合准拠						
取得規格							
その他	赤豚 LAIN・电水ム 採油至午週口証明软時、AUアツノツー・电利用四女土広 週口性快旦口俗音软時、VUUI UIdSS A						
	山平田/アしは灰田 し さみ じ れい こう						

※ 5.2/5.3GHz 帯は電波法により屋内使用に限定されます。

※ 無線 LAN の実効速度はお使いの環境により異なります。

※ IEEE802.11n で WPA-PSK(TKIP) または WEP を選択した場合、十分な通信速度が得られません。

※W53,W56のチャンネルを使用して本製品の起動、再起動、無線の設定を変更した場合、DFSの動作により1分間無線LANの通信は行えません。

出荷時設定

動作工ド			マクセフポイント		
	2.4GHZ				
	6GHz		アクセスボイント		
基本設定	無線機能		無効		
$(\neg \neg \neg \neg \neg \neg \neg \neg \land \land \land \land)$	SSID 数				
(アクセスホイノト)			AirPortvyvvv/v け制只 とで思たります)		
	オートナャンネル		有効		
	チャンネル更新問	間	更新しない		
	使用する帯域	2.4GHz	2.4GHz (IFFF802.11n/g/b)		
		Б <u>С</u> Ц7	5GHz (IEEE80211n/a)		
	<u></u> ナャンネルホンフ	-7.22	ZUMHZ		
基本設定	無線機能		無効		
	SSID 数]		
(WD3 9E-9-)	59101		AirPortyyyyy(x け制品 ジンで異たります)		
	ナヤノイル	2.4GHZ	6011		
		5GHz	36ch		
	使用する帯域	2.4GHz	2.4GHz (IEEE802.11n/g/b)		
		5GHz	5GHz (IEEE80211n/a)		
		*			
	チャンネルホンテ	-7.22	20MHz		
	WDSモード		WDS アクセスポイント		
	MAC アドレス	1			
		<u>.</u>			
	MAC アドレス 3	<u> </u>	0000000000		
	MAC アドレス 4	1	000000000		
基本設定			無効		
(ユニバーサルリピーター)					
	SSID1		AirPortxxxxx(x は製品ごとで異なります。)		
	使用する帯域	2.4GHz	2.4GHz (IEEE802.11n/g/b)		
		5GHz	5GHz (IFEF80211n/a)		
	チャンクルボンラ	<u></u> ギノンガ			
		1//			
WPS	WPS		有効		
	クライアント側 \	NPS 設定			
セキュリティ	SSID		SSID1 の名前		
	ポートセパレー		無効		
			(無効) (無効)		
	ター	SIA	無効		
	SSID 通知	·	有効		
	認証力法		WPA&WPAZ(TKIP&AES)		
	Pre Shared Key 入力方式		ASCII		
	キーの更新		更新しない		
フィルター	<u>毎線LANI MAC アドレスフィルター機</u>		<u>一機</u> 無効		
5 1705					
	能を有効にする				
			MAC アドレス (空白)		
VLAN	タグ VLAN		無効		
	SSID タグ		1		
		E			
局度な設定	ノラクメント閾値	<u> </u>	2346		
	RTS 閾値		2346		
	ビーコン間隔		100		
			1		
		1			
	11nデータレート				
	プリアンブル		ロングプリアンブル		
	CTS プロテクシ	ヨン			
	送信出力		100%		
			—————————————————————————————————————		
	首電力モード				
	接続台数制限		128		
有線 LAN 設定	IP アドレスの設定	定方法	DHCP 自動取得		
	DNSタイプ		ダイナミック		
			レコノーソノ DTO(手動)		
ドマスリロス人上					
	参照するタイム ち	ケーバーの設定	プリセットから選択		
スケジュール設定	作成するスケジニ	ュール	再起動		
	曜日		未選択		
	时间				
ログ通知設定	ログレベル		標準		
	システムログ		無効		
	F-Mail 送信		無効		
			(1)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)		
	1 ハノト連丸		無双		

SNMP	SNMP	無効
	Тгар	無効
その他の設定	デバイス名	WHG-NAPG/A
	管理用 VLAN	無効
	IEEE802.1d スパニングツリー	無効
	5GHz と 2.4GHz のセパレート	無効
	UPnP	無効
	PnP-X	無効
	LLTD	無効
	無線接続時は設定画面をひらかせない	有効
	AirPort Quick Copy	有効
	AirPort Quick Copy HG	有効
管理者パスワード	現在のパスワードの入力	(空白)
	新しいパスワードの入力	(空白)
	新しいパスワードの再入力	(空白)



メッセージ	内容	注釈
Start Log Message Service!	ログ処理を開始します	
SYS Application Version: xx	F/W バージョン	
I AN start	ΔNI 処理を開始 /ます	
BR start	ブリッジが理を閉始します	
M/L ANI* M/irolocc mode -		
WLAN*, SSIDX =	55IDX の、E55ID を衣示	* は、T か 2.46HZ、2 は 56HZ x は、1-4"
WLAN*, Channel =	無線 LAN のチャンネル	* は、1 が 2.4GHz、2 は 5GHz
WLAN*. Max client number =	無線 LAN の接続制限数	* は、1 が 2.4GHz、2 は 5GHz
WI AN*. Beacon Interval =	無線 I AN のビーコン間隔	*は、1が24GHz、2は5GHz
WI AN*. DTIM period =	無線 I AN の DTIM 送信間隔	* は、1 が 2.4GHz、2 は 5GHz
WI AN* Preamble =	毎線 LAN のプリアンブルのモード	* は、1 が 2 4 GHz、2 は 5 GHz
NTP start NTP Client	NITP クライアントを開始します	
NTP Time zone - 100 Osaka Sannoro, Tokyo	トロクタイムジーン・大阪 札幌 東方ゾー	
1111, Time zone – +3.0 Osaka, Sapporo, Tokyo		
NTP, Daylight saving status: Disable	夏時間設定:OFF	
NTP, Local time=xxxx/yy/zz aa:bb:cc	NTP サーバーから取得した時間	xxxx:年
		уу. н
		zz:日
		aa:時
		cc:秒
LAN, NAT Disabled	NAT 無効	
LAN, stop NAT	NAT を停止します	
LAN. Firewall Disabled	Firewall 無効	
I AN, stop Firewall	Firewallを停止します	
HTTP start	HTTP サーバーを開始します	
HTTP Stonning	HTTP サーバーを停止します	
HTTP Address "vvv vvv vvv" login success		
HTTP Address "xxx xxx xxx" login success	ログオンが生めしました	
HTTP Address "xxx xxx xxx" logout suppose		
Child start Child ass for		
Delegating Delegating CNIMD server		
Reloading, Reloading Shivie Server	SINMP リーハーを再起動しました	
CH.11]	2.46日2のオートナヤノネルの使用範囲	
WLAN[2.4G], AutoChannel change to x	2.4GHz のオートチャンネルで x チャン	
	ネルに変更されました	
WI AN[24G] Current channel is best channel	24GHzのオートチャンネルで変更はあ	
MU ANIE OI Aveilable Auto Obernali (OLLOG, OLLOG)	「りません」	
WLAN[56],AVAIIADIE AULO CHAHHEI. [CH.36, CH.40,	15GHZ のオードテャノネルの使用範囲	
CH.44, CH.48]		
WLAN[5G], AutoChannel change to x	5GHzのオートチャンネルで×チャンネ	
	ルに変更されました	
WLAN[5G], Current channel is best channel	5GHz のオートチャンネルで変更はあり	
I IPpP Stopping		
U IPop Stort		
MAN Chapping	ロロしビリーハーを停止します	l
IVVAIN, SCOPPING	WAN を特定しよ9	
WAN, stop Static IP mode	WAN の静的 IP アドレスモードを停止し ます	
Station [xx:xx:xx:xx:xx] associated	クライアント xx:xx:xx:xx:xx が接続を	xx:xx:xx:xx:xx:xx は. 毎線 AN クライ
Station [xx:xx:xx:xx:xx] start authentication	クフイアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が認証を	XX:XX:XX:XX:XX:XX は、無線 LAN クライ
	開始しました	<u>アントの MAC アドレス</u>
Station [xx:xx:xx:xx:xx] WPA/WPA2	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA/	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
authentication successful	WPA2 認証に成功しました	アントの MAC アドレス

メッセージ	内容	注釈
Station [xx:xx:xx:xx:xx] WPA/WPA2	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA/	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
authentication fail	WPA2 認証に失敗しました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] disassociated	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が切断し	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
Station [vv:vv:vv:vv:vv] conding 1/4 meg of	よした Stop 1 / イメッセージを送信しました	アンドのINACアドレス vvvvvvvvvvvvv は 毎娘」ANI クライ
4-way Handshake		
Station [xx:xx:xx:xx:xx] received EAPUL-Key	Step.2/4 ペアワイスキーのEAPUL	XX:XX:XX:XX:XX:XX は、無線 LAN クライ
frame (2/4 Pairwise)	キーフレームを取得しました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] sending 3/4 msg of	Step.3/4 メッセージを送信しました	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
4-Way Handshake		アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] received EAPOL-Key	Step.4/4 ペアワイズキーの EAPOL	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
frame (4/4 Pairwise)	キーフレームを取得しました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] pairwise key handshake	WPA のペアワイズキーのハンドシェイク	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
completed (W/PA)		
Station [xx:xx:xx:xx:xx] nairwise key handshake	M/PA2 のペアワイブキーのハンドシェイ	/ / · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Completed (RSN)		
	Step. 172 グルーフキーを送信しました	XX.XX.XX.XX.XX.XX は、 無線 LAIN クリイ
Group Key Handshake		
Station [xx:xx:xx:xx:xx] received EAPOL-Key	Step.2/2 グループキーフレームを受信	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
frame (2/2 Group)	しました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] group key handshake	WPA のグループキーのハンドシェイクが	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
completed (WPA)	完了しました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] EAPOL-Key timeout	EAPOL-Key の受信タイムアウトが発生	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
Station [xx:xx:xx:xx:xx] invalid MIC in msg 2/4 of	ISten 2/4 ペアワイズキーの MIC が異	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、 毎線 AN クライ
4-Way FidiluSilake Station [vv:vv:vv:vv:vv] Encryption Information	なうていより カニイアント vv·vv·vv·vv·vv がM/DA	
WPA-EAP(IKIP)	EAP(TKIP) で接続を行いました	
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption information	クライアント XX:XX:XX:XX:XX:XX か WPA-	XX:XX:XX:XX:XX:XX は、無線 LAN クライ
WPA-EAP(AES)	EAP(AES) で接続を行いました	アントのMACアドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
WPA2-EAP(TKIP)	WPA2-EAP(TKIP) で接続を行いました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
WPA2-EAP(AES)	WPA2-EAP(AES) で接続を行いました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA-	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
WPA-PSK(TKIP)	PSK(TKIP)で接続を行いました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA-	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
	 PSK(AFS) で接続を行いました	
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	$\gamma = \sqrt{2}$	/ / · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Protion [vvvvvvvvv] Enervation Information		
WPA2-PSK(AES)	WPA2-PSK(AES) で接続を行いました	
ר איז	クライアフト XX:XX:XX:XX:XX:XX が喧号化 	XX:XX:XX:XX:XX:XX は、 無線 LAN クライ
No encryption	なしで接続を行いました	アントの MAC アドレス
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が	XX:XX:XX:XX:XX:XX は、無線 LAN クライ
IEEE802.1X	IEEE802.1X(Dynamic WEP) で接続	アントの MAC アドレス
	を行いました	
Station [xx:xx:xx:xx:xx] Encryption Information	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が	xx:xx:xx:xx:xx:xx は、無線 LAN クライ
WFP	 Static WEP で接続を行いました	
ISCHEDULE, start Schedule	スケジュール機能を開始しました	
SCHEDULE, Schedule Stopping	スケジュール機能を停止しました	
SCHEDULE, start Wireless Off	無線の無効処理を開始しました	
SCHEDULE, Stop Wireless Off	無線の無効処理を停止しました	
SCHEDULE, start Wireless On	無線の有効処理を開始しました	
SCHEDULE, Stop Wireless On	無線の有効処理を停止しました	
SCHEDULE, start Email Alert	E-Mail でのログ送信を開始しました	
SCHEDULE, stop Email Alert	E-Mailでのログ送信を停止しました	
SCHEDULE, start System Reboot	用起動処理を開始しました	
SUHEDULE, Stop System Reboot		
Sivi i P, Sena mali tallea	ヒ- VI ごのログ达信に矢敗しました	



情報

●ステータス

本製品の現在のステータスを表示します。無線 LAN のステータスは動作モードにより異なります。

情報 無	線LAN 本体設定	ログアウト			
D 25-92	,,				
> クライアントリスト 本製品の設定情報を表示します。					
▶ スケジューノルリスト	情報	- 1			
≥¤ ^g 5/75	テム時間 2010/03/09 14:18:01				
システム システム ハードウェアバ	品動時間 12 min 48 sec ニジョン	3	▼動作干―ト	ミが「コーバーサルリピ	ーターモード] の場合
ファームウェア バ	ージョン				
	有線LANステータス		ľ	2.4GHz無線LANステータス 執作エード	っこ パーサル ビーター
1 サブネ	Pアドレス 192.168.0.201 ットマスク 255.255.255.0			悪線LANUビー 無線LANUビー	- <u></u>
MA	Cアドレス			接続ステータス	成功
デンオルドク・ プライオリティDNS	サーバー 192.168.0.201			チャンネル	11
セカンダリDNS	サーバー			周波数	2.462GHz
	無線LANステータス			ESSID	AirPort
Copyright (C) 2010 To Data Derice and All rights reserved. 割 rights reserved. 動	ス 作モード アクセスポイント			BSSID(接続) セキュリティ(接続)	WDAD DSK(AES)
				BSSID(AP)	WFAZ-FSK(ALS)
▼動作モードが[無効]の場合				セキュリティ(AP)	WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP&AES)
2.4GHz無線LANステータス]		MACアドレス	
動作モード 無効			_		
チャンネル 6					
			▼動作モート	ヾが [WDS アクセスポ	イントモード] の場合
▼動作モ―ドが「ΔP モ―ド」(の場合			2.4GHz無線LANステータス	
		1		動作モード	WDSリピーター
無線LANステータ」	λ			チャンネル	6
2.4GHz無線LANステータス				SSID_1	
動作モード アクセン	スポイント			ESSID	AirPort
SSID 1			L	5556	
ESSID AirPor	t				
セキュリティ WPA-I	PSK/WPA2-PSK(TKIP&AES)		▼動作モート	ドが「WDS クライアン	トモード] の場合
BSSID	100 C 10			2.4GHz無線LANステータス	
5GHz無線LANステータス				動作モード	WDSリピーター
動作モード アクセン	スポイント			チャンネル	6
チャンネル 36 SSTD 1				SSID_1	
ESSID AirPor	t			ESSID	AirPort
セキュリティ WPA-I	PSK/WPA2-PSK(TKIP&AES)			セキュリティ	WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP&AES)
BSSID	B100 01.0			WDS MACアドレス	
	シュニーの桂起ち	」 .まテレキオ	L		
	システムの旧報を		+		
	システムの現住の	时间を衣小しま	♪。 ニ∟ + ↓		
		からの時間を衣え	下しまり。 		
ハードワェアハーション 本製品のハードワ			シを表示します	° +	
ファームウェアハージョン 本製品のファーム		リエアのハーショ	ヨジを表示しま	9.	
有線 LAN ステータス 有線 LAN 側の情		報を表示します。			
IPアドレス 本製品の IP アド L		ノスを表示します	- 0		
サブネットマスク 本製品のサブネッ		トマスクを表示し	します。		
MAC アドレス 「有線 LAN ポート		のMACアドレス	スを表示します	0	
デフォルトゲートウェイ デフォルトゲート		ウェイアドレスな	を表示します。		
プライオリティ DNS サーバー	優先度 1 の DNS	サーバーを表示	します。		
セカンダリ DNS サーバー	優先度2のDNS	サーバーを表示	します。		

無線 LAN ステータス	無線 LAN 側の情報を表示します。
2.4GHz 無線 LAN ステータス	2.4GHz 側の無線 LAN のステータスを表示します。
5GHz 無線 LAN ステータス	5GHz 側の無線 LAN のステータスを表示します。
動作モード	ご利用の周波数の動作モードを表示します。
	アクセスポイント、WDS リピーター、ユニバーサルリピーター、無効
チャンネル	動作しているチャンネルを表示します。
	1~13, 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116,
	120、124、128、132、136、140、無線 off
ESSID	動作している SSID を表示します。
セキュリティ	アクセスポイントの動作しているセキュリティモードを表示します。
	無効、WEP、WPA-PSK(TKIP)、WPA-PSK(AES)、WPA-PSK(TKIP&AES)、WPA2-
	PSK(AES), WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP&AES), WPA-EAP(TKIP), WPA-EAP(AES),
	WPA-EAP(TKIP&AES)、WPA2-EAP(AES)、WPA-EAP/WPA2-EAP(TKIP&AES)
BSSID	アクセスポイントの BSSID が表示されます。
WDS MAC アドレス	WDS クライアントモード時の MAC アドレスを表示します。
	WDS アクセスポイントモードのデバイスに、本 MAC アドレスを登録してください。
接続ステータス	ユニバーサルリピーター動作時に、接続を行うアクセスポイントの接続状態が表示されます。
	成功、失敗
周波数	本機が接続しているチャンネルの周波数を表示します。
BSSID(接続)	ユニバーサルリピーター動作時に、接続を行われているアクセスポイントの BSSID を表示します。
セキュリティ (接続)	コニバーサルリピーター動作時に、接続が行われているセキュリティ方式を表示します。
	無効、WEP、WPA-PSK(TKIP)、WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(TKIP)、WPA2-
	PSK(AES)、WPA-EAP(TKIP)、WPA-EAP(AES)、WPA2-EAP(TKIP)、WPA2-EAP(AES)
MAC アドレス	ユニバーサルリピーター時の MAC アドレスを表示します。
BSSID(AP)	ユニバーサルリピーター時のアクセスポイント部分の BSSID を表示します。
セキュリティ (AP)	ユニバーサルリピーター時のアクセスポイント部分の動作しているセキュリティモードを表示します。
	無効、WEP、WPA-PSK(TKIP)、WPA-PSK(AES)、WPA-PSK(TKIP&AES)、WPA2-
	PSK(AES)、WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP&AES)
[更新]ボタン	最新の情報に更新します。

●クライアントリスト

本製品に接続されているクライアントのリストを表示します。



SSID	接続しているクライアントの ESSID を表示します。
MAC アドレス	接続しているクライアントの MAC アドレスを表示します。
無線 LAN 規格	接続しているクライアントの無線通信規格を表示します。
	IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11a、IEEE802.11n/g、IEEE802.11n/a
セキュリティ	接続しているクライアントのセキュリティ方式を表示します。
	無効、WEP、WPA-PSK(TKIP)、WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES)、
	WPA-EAP(TKIP)、WPA-EAP(AES)、WPA2-EAP(TKIP)、WPA2-EAP(AES)
電波強度 (%)	接続しているクライアントの電波強度 (%) を表示します。
Тх	送信パケット数を表示します。
Rx	受信パケット数を表示します。
[更新]ボタン	最新の情報に更新します。

●スケジュールリスト

本製品に設定されているスケジュールを一覧で表示します。

情報	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
 ステータス クライアントリスト スケジュールリスト 	本製品に設定されているス	ケジュールを一覧で表示します ー	'o	
▶ □ÿ	設定済みスケジュールー コンテンツ 年60 - 45	覧: 日時		Riller
	無線 off 無線 on	量 22:00 月 08:00		前原来
	再起動	水, 🗄 12:00		削除
	【削除】ボタンを押した後、	【設定】ボタンを押さないと設定」	は反映されません。	

[削除]ボタン	表示されているスケジュール項目を削除します。
[設定]ボタン	スケジュールの削除を反映します。

●ログ

ログの内容については、【ログ一覧】(48ページ)をご覧ください。	情報	情報	無線LAN	本体設定	 ログアウト
	▶ ステータス				-
	> クライアントリスト	ログ情報を表示しま	す。		
	▶ スケジュールリスト	Mar 9 14:0	:34 [SYSTEM]:		^
	► 日グ	Mar 9 14:0	:34 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:0	:34 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:00	:34 [SYSTEM]: :34 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:01	:34 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:0	:34 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:0	:46 [SYSTEM]:		E
		Mar 9 14:03	:46 [SYSTEM]: .45 [SYSTEM].		-
		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:		-
		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:0	:45 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:		
保存 ホタン 表示されているロクを保存します。		Mar 9 14:0	:45 [SYSTEM]:	and the second	
		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:	State State States and	
クリア ホタン ロクを消去します。		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:		
		Mar 9 14:0	:45 [SYSTEM]:		
史新 ボタン 最新の情報に更新します。		Mar 9 14:03	:45 [SYSTEM]:		~
	Copyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.				
				(22	회 계고 東新 💆

無線 LAN

●動作モード

			1	
無線LAN	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 動作モード				
▶ 基本設定	2.4 GHz (n/g/b)	5 GHz (n/a)		
▶ WPS	アクセスポイント	アクセスポイント	*	
▶ セキュリティ	以下の組み合わせは設定	できません。		
► 7 <i>41</i> 1/3-	 ユニバーサルリビ・ WDSUピーターボ 	ーターを両方の周波数で設定。 両方の周波数で設定する。	する。	
▶ VLAN	 ユニバーサルリビ 	ーターとWDSリビーターの組み	9合わせで設定する。	
▶ WMM				設定
▶ 高度な設定				

アクセスポイント	通常のアクセスポイントとして使用します。接続できるのは無線クライアントのみとなります。
WDS リピーター	WDS(Wireless Distribution System) によるリピーターモードです。2 つ以上の有線ネットワークな
	どを、無線で接続 (ブリッジ) することができます。WDS アクセスポイント(親機)1 台に対し、WDS
	クライアント(子機)4 台まで、あらかじめ設定済みの対応アクセスポイントのみ無線接続できます。
ユニバーサルリピーター	無線 LAN の間に壁などがあり、無線通信しにくい場合は、本製品を中継点(リピーター)として接続
	することができます。エリアに存在するネットワーク(SSID)を選択し、接続することで機能します。
	※ IEEE802.1x 認証ネットワーク内では使用することができません。
無効	無線機能を無効にします。

※以下の組み合わせは設定できません。

- ・ユニバーサルリピーターを両方の周波数で設定する。
- ・WDS リピーターを両方の周波数で設定する。
- ・ユニバーサルリピーターと WDS リピーターの組み合わせで設定する。

●基本設定(アクセスポイント)



無線機能	無線の on、	off を設定します。
SSID 数	マルチ SSI	D を使用する場合、設定します。SSID 数は最大、片方の周波数帯に 4 つまで設定できます。
SSID1~4	SSID 名を	設定します。
オートチャンネル	オートチャ	ンネル使用時は「有効」にします。
チャンネル更新時間	オートチャ	ンネル 「有効」時、使用チャンネルの更新間隔を設定できます。
チャンネル	2.4GHz	1~13 ch から選択します。
	5GHz	36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、
		124、128、132、136、140 ch から選択します。
使用する帯域	使用する無	線規格を選択します。
チャンネルボンディング	チャンネル	ボンディングを使用する場合は「20/40MHz」を選択します。

●基本設定(WDS リピーター)

無線LAN	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト	
▶ 動作モード	2.4GHz			5GHz	
 ▶ 基本設定 ▶ WPS ▶ ヤキュリティ 	無線LAN基本設定を行います。	上のタブを切り替えて2.4(GHz、5GHzそれぞれに設定を	行う必要があります。	^
>7411/3-	無線機能:	○ 右轨 ④ 垂轨			
	SSID数:				
▶ 高度な設定	SSID1 : チャンネル :	36 5.180 GHz 💌			
	使用する帯域: チャンネルボンディング:	5 GHz (IEEE802.11)	n/a) 🔽 0 MHz		
	WDSモード:	● WDSアクセスポイン	ト 〇 WDSクライアント		
	MAC7ドレス 2 :]		
opyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.	MACアドレス 3: MACアドレス 4:]		~

無線機能	無線の on、	off を設定します。
SSID 数	WDSリピ	ーター使用時は、マルチ SSID 機能は使用できません。
SSID1	SSID 名を	設定します。
チャンネル	2.4GHz	1~13 ch から選択します。
	5GHz	36、40、44、48ch から選択します。
使用する帯域	使用する無	線規格を選択します。
チャンネルボンディング	チャンネル	ボンディングを使用する場合は「20/40MHz」を選択します。
WDSモード	WDS アク	セスポイント(親機)、または、WDS クライアント(子機)を選択します。
	* WDS 7	?クセスポイント(親機)1台に対し、WDSクライアント(子機)を4台まで接続できます。
MAC アドレス 1 ~ 4	WDS 接続	するアクセスポイントの無線 MAC アドレスを登録します。
WDS 暗号化設定	WDS 接続	環境で使用されている暗号化方法を設定します。
	※ WDS 使	用時は暗号化なし(無効)か WEP しか使用できません。

●基本設定(ユニバーサルリピーター)



無線機能	無線のon、offを設定します。
SSID 数	ユニバーサルリピーター使用時は、マルチ SSID 機能は使用できません。
SSID1	SSID 名を設定します。
使用する帯域	使用する無線規格を選択します。
チャンネルボンディング	チャンネルボンディングを使用する場合は「20/40MHz」を選択します。
設定ウィザード	ユニバーサルリピーターの接続設定ウィザードを起動します。
リピーター暗号化設定	暗号化方法を変更します。
	※暗号化なし(無効)、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK から選択できます。
	(各画面については、下記より参照)

ユニバーサルリピーターセキュリティ設定(無効)



ネットワーク名 (SSID)	SSID 名を設定します。
ポートセパレーター	STA ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
SSID 通知	[無効] に設定するとクライアントから設定済みの SSID を見えない状態にします。
MAC アドレス認証	有効:設定された MAC アドレスのアクセスポイントに接続をおこないます。
	無効:設定された SSID のアクセスポイントに接続をおこないます。
暗号化方法	無効:暗号化なしでリピートします。
	WEP:WEP 暗号化でリピートします。
	WPA-PSK/WPA2-PSK:WPA-PSK/WPA2-PSK 暗号化でリピートします。

ユニバーサルリピーターセキュリティ設定(WEP)

🗿 http://192.168.0.150/wlsitesettings.htm -	Microsoft Internet Explorer	
ユニバーサルリピーターの無線LANセキュリラ 能です。	ティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの増号キーの設定が可	*
アクセスポイントプロファ	マイル設定	
ネットワーク名 (SSID):	AirPort	
ポートセバレーター:	□ STA	
SSID通知:	有効 💌	
MACアドレス認証:	● 有効 ○ 無効	
暗号化方法:	WEP	
認証方式:	Open System C Shared Key	
キーの長さ:	128-bit 💌	
入力方法:	16進数 (26 文字) 💌	
暗号キー番号:	暗号キー1 💌	
暗号キー 1:	The second se	
暗号キー 2:		
暗号キー 3:		
暗号キー 4:		
	設定	*
とした と		11.

認証方式	[Open S	「Open System」か「Shared Key」かを選択します。		
キーの長さ	WEP のキ	-長は64bitか128bit ²	を使用できます。	
入力方法	ASCII	ASCII 半角英数字を入力します。		
	16進数	○ ~ 9 または A ~ F の文字列を入力します。		
暗号キー番号	WEP の有	WEP の有効になる暗号キー番号を選択します。		
暗号キー 1 ~ 4	WEP の暗号キーを入力します。			
		64bit 128bit		
	ASCII	ここに、「10文字」 10文字 (10文字) (10(文字) (10(文字)) (10(\chi + 1)) (10		
	16進数	13文字	26 文字	

ユニバーサルリピーターセキュリティ設定(WPA-PSK/WPA2-PSK)

🗿 http://192.168.0.150/wlsitesettings.htm -	Microsoft Internet Explorer	
ユニバーサルリビーターの無線LANセキュリ 能です。	ティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの暗号キーの設定が可	A
アクセスポイントプロフォ	マイル設定	
ネットワーク名 (SSID):	AirPort	
ポートセパレーター:	□ STA	
SSID通知:	有効 💌	
MACアドレス認証:	● 有効 C 無効	
暗号化方法:	WPA-PSK/WPA2-PSK	
認証方式:	WPA&WPA2(TKIP&AES) -	
Pre Shared Key :		
	設定	
		-
ど ページが表示されました		11.

認証方式	WPA (TKIP)	WPA-PSK の TKIP 方式暗号化に対応します。
	WPA (AES)	WPA-PSK の AES 方式暗号化に対応します。
	WPA (TKIP & AES)	WPA-PSK の TKIP 方式と AES 方式どちららにも対応します。
	WPA2 (AES)	WPA2-PSK の AES 方式暗号化に対応します。
	WPA&WPA2 (TKIP	WPA-PSK と WPA2-PSK の両方に対応しており、クライアントの暗号方式を自動的
	& AES)	に判別して接続します。
		WPA-PSK や WPA2-PSK のクライアントが同時に接続することができます。
Pre Shred Key	ASCII	半角英数字を入力します。
入力方法	16進数	□~9またはA~Fの文字列を入力します。
Pre Shred Key	ASCII	8~63文字の半角英数字で入力します。
	16進数	64 文字の O ~ 9 または A ~ F の文字列を入力します。
キーの更新	キーの更新間隔を選択し	します。





WPS	WPS どの設定を行う場合「有効」にします。ホタブでの設定などを行わない場合「無効」にしておくと
	不用意な操作を無効にできます。 ※WPS での設定は、SSID1 でのみ利用できます。
アクセスポイント側 WPS	設定
設定をリセットする	WPS の設定ステータスをリセットします。
WPS 開始	アクセスポイント側の PIN コードで設定を開始します。
クライアント側 WPS 設定	
WPS 開始	クライアント側の PIN コードで設定を開始します。
プッシュボタンを利用した	: WPS 設定
WPS 開始	プッシュボタンを使用した WPS 設定を設定画面上から開始します。

1	無線LAN	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
	▶ 動作モード	2.4GHz			5GHz
	▶ 基本設定	モード・アクセスポイン	и н .	Υ τ -	ド:ユニバーサルリピーター
	▶ WPS				
	▶ セキュリティ	無線LANセキュリティ設定 WPA2-EAPのRadius	Eです。WEPとWPA-PSK、WF 動連の設定が可能です。	A2-PSKの暗号キーの設定と、	IEEE802.1x, WPA-EAP,
	▶ フィルター	SSID :	AirPort	~	
	VLAN	ボートセパレーター :	ssid s	TA	
	► WMM	SSID通知:	有効 🖌		
	▶ 高度な設定	暗号化方法:	WPA-PSK/WP	A2-PSK V	
		認証方法:	WPA&WPA2(1	KIP&AES) 🔽	
		Pre Shared Key 入;	カ方法: ASCII(8-63文字)	
		Pre Shared Key :			
		キーの更新:	更新しない 🖌		
					設定

SSID	セキュリティ設定を	行う SSID を選択します。
ポートセパレーター	各モードについては	【ポートセパレーターを使用する】 (33 ページ) をご覧ください。
	SSID	SSID ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
	STA	STA ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
SSID 通知	[無効]に設定すると	こクライアントから設定済みの SSID を見えない状態にします。

●セキュリティ (WEP)

無線LAN	情報	無線LAN 本体設定	ログアウト
▶ 動作モード 基本設定	2.4GHz モード:アクセスポイント		5GHz モード:wdsリピーター
▶ wps	ボートセパレーター :	SSID STA	<u>^</u>
 セキュリティ フィルター 	暗号化方法:	WEP	
VLAN	認証方式: キーの長さ:	Open System O Shared Key 64-bit	
 WMM 高度な設定 	入力方法: 暗号キー番号:	16進数(10文字) 💙 暗号キー1 💙	
	暗号キー 1: 暗号キー 2:		
	暗号十一 3:		
	暗号キー 4: □ IEEE802.1x辺証をむ	史 用する	
Copyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.			設定

認証方式	「オープン	'システム」か「Shared Key(共 ²	有キー)」 か	を選択します。	
キーの長さ	WEP の=	F-長は 64bit か 1 28bit を使用で	できます。		
入力方法	ASCII	半角英数字を入力します。	16進数	○ ~ 9 または A ~ F の文字列を入力します。	
暗号キー番号	WEP の律	VEP の有効になる暗号キー番号を選択します。			
暗号キー 1~4	WEP のB	VEP の暗号キーを入力します。			
		64bit	128bit		
	ASCII	ASCII 5 文字 10 Y] 10 Y 10			
	16進数	13文字	26 文字		

●セキュリティ(WPA-PSK/WPA2-PSK)

無線LAN	情報 無線LAN 本体設定 ログアウト
 ▶ 動作モード ▶ 基本設定 	2.4GHz 5GHz モードックセスポインオ モードュニバーサルリピーター
▶ WPS ▶ セキュリティ	無線LANセキュリティ設定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの暗号キーの設定と、IEEE802.1x、WPA-EAP、 WPA2-EAPのRadus関連の設定が可能です。
▶ フィルター	SSID : AirPort 🗸
VLAN	<mark>ポートセパレーター:</mark> SSID □STA
NMM	SSID通知: 有効 ¥
▶ 高度な設定	暗号化方法: WPA-PSK/WPA2-PSK ▼
	22証方法: WPA&WPA2(TKIP&AES) ▼
	Pre Shared Key 入力方法: ASCII(8-63文字) V
	Pre Shared Key :
	<u>キーの更新</u> : 更新しない ≥
	設定

認証方式	WPA (TKIP)	WPA-PSK の TKIP 方式暗号化に対応します。
	WPA (AES)	WPA-PSK の AES 方式暗号化に対応します。
	WPA	WPA-PSK の TKIP 方式と AES 方式どちららにも対応します。
	(TKIP&AES)	
	WPA2 (AES)	WPA2-PSK の AES 方式暗号化に対応します。
	WPA&WPA2	WPA-PSK と WPA2-PSK の両方に対応しており、クライアントの暗号方式を自動
	(TKIP&AES)	的に判別して接続します。
		WPA-PSK や WPA2-PSK のクライアントが同時に接続することができます。
Pre Shared Key 入力	ASCII	半角英数字を入力します。
方法	16進数	□~ 9 または A ~ F の文字列を入力します。
Pre Shared Key	ASCII	8~63文字の半角英数字で入力します。
	16進数	64 文字の O ~ 9 または A ~ F の文字列を入力します。
キーの更新	キーの更新間隔を選	択します。

●セキュリティ(IEEE802.1x WEP)



認証方式	「オープンシステム」か「Shared Key(共有キー)」かを選択します。
キーの長さ	WEP のキー長は 64bit か 1 28bit を使用できます。
Radius サーバー IP ア	Radius サーバーの IP アドレスを設定します。
ドレス	
Radius サーバー ポート	Radius サーバーのポート番号を設定します。
Radius サーバー 共有	Radius サーバーに登録されている Shared Secret(共有シークレット)を設定します。
シークレット	

●セキュリティ(WPA-EAP/WPA2-EAP)

無線LAN	情報 無線LAN 本体設定 ログアウト
▶ 動作モード	2.4GHz 5GHz
▶ 基本設定	モード・アクセスポイント モード・ユニバーサルリピーター
VPS	
▶ セキュリティ	無線LANセキュリティ数定です。WEPとWPA-PSK、WPA2-PSKの増号キーの数定と、IEEE802.1x、WPA-EAP、 WPA2-EAPのRadius関連の数定が可能です。
► 7 <i>41</i> /3-	SSID : AirPort Y
▶ VLAN	ボートセパレーター: □ SSID □ STA
NMM	SSID通知: 有効 V
▶ 高度な設定	暗号化方法: WPA-EAP/WPA2-EAP v
	認証方法: WPA&WPA2(TKIP&AES) ✓
	Radiusサーバー IPアドレス:
	Radiusサーバー ポート: 1812
	Radiusサーバー 共有シークレ ット:
	<u>キーの更新</u> : 更新しない ▼
opyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.	設定

認証方式	WPA (TKIP)	WPA-EAP の TKIP 方式暗号化に対応します。	
	WPA (AES)	WPA-EAP の AES 方式暗号化に対応します。	
	WPA	WPA-EAP の TKIP 方式と AES 方式どちららにも対応します。	
	(TKIP&AES)		
	WPA2 (AES)	WPA2-EAP の AES 方式暗号化に対応します。	
	WPA&WPA2	WPA-EAP と WPA2-EAP の両方に対応しており、クライアントの暗号方式を自動	
	(TKIP&AES)	的に判別して接続します。	
		WPA-EAP や WPA2-EAP のクライアントが同時に接続することができます。	
Radius サーバー IP ア	Radius サーバーの	IP アドレスを設定します。	
ドレス			
Radius サーバー ポート	Radius サーバーの	ポート番号を設定します。	
Radius サーバー 共有	Radius サーバーに登録されている Shared Secret(共有シークレット)を設定します。		
シークレット			
キーの更新	キーの更新間隔を選	択します。	

●フィルター



説明	登録する機器にコメントをつけます。半角英数字のみ入力可能です。
MAC アドレス	接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。半角英数字のみ入力可能です。
[追加]ボタン	許可リストに追加します。
[リセット]ボタン	入力内容をリセットします。
[削除]ボタン	選択した機器(MAC アドレス)を許可リストから削除します。
[全てを削除]ボタン	全ての機器(MAC アドレス)を許可リストから削除します。



無線LAN	情報 無線LA	N 本体設定 ログアウト
▶ 動作モード	2.4GHz	5GHz
▶ 基本設定	モード:アクセスポイント	モード:ユニハーサルリピーター
 WPS セキュリティ 	IEEE802.1QタグVLANの設定を行います。S	SID毎にVLAN IDを設定してください。
D-7111-9-	<mark>タグVLAN:</mark> 〇有効(無効
▶ VLAN	SSID 1 <u> </u>	(1~4094)
▶ WMM		設定
▶ 高度な設定		
opyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.		

タグ VLAN	フレームのヘッダ部分に VLAN の識別番号を記すことでグループ分けを行います。
SSID 1 ~ 4 タグ	SSID ごとに VLAN ID を割り振ります。

• WMM

	der blas a as		情報		無線LA	N	本体設	淀	ログア	ウト
	無縁LAN								L	
	▶ 動作モード		2.4GHz 5GHz							
	▶ 基本設定		モード:アクセ	マスポイント			X		モード・アクセ	2スポイント
	▶ WPS									
	▶ セキュリティ		WMMテクノロシ のアプリケーショ	2ーは、WI-FIネッ ヨンのトラフィック	小ワーク上の を抑制し、より	オーディオ、ビ 快適なマルチ	デオ、音声のア: メディアネットワ・	ブリケーション ークを提供しま	のブライオリティ? Eす。	管理し、他
	>フィルター		WMM: Ø)右勃 () 筆む						
	VLAN			- 11.0 - 2.00.						
	► WMM			Aifsn	アクセス CWMin	(ポイント傷W CWMax	/MM設定 Txop	ACM	AckPolicy	
	▶ 高度な設定		AC_BE	3	15 🗸	63 🗸	0			
			AC_BK	7	15 🗸	1023 🛩	0			
			AC_VI	1	7 ~	15 🗸	94			
			AC_VO	1	3 🗸	7 🗸	47			
			クライアント側WMM設定							
Con	wight (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC.		AC RE	Alish			1023 v	Тхор		
	All rights reserved.		AC_BE	3			102.5			
	All rights reserved.							-		

Aifsn	CWMin	CWMax	Тхор	ACM	AckPolicy
フレーム送信間隔	待機時間(最小値)	待機時間(最大値)	占有時間	送信フレーム割り当	Ack の送信
				て制限	

AC_BE	ベストエフォート (Web)
AC_BK	バックグラウンド (Mail)
AC_VI	Video(動画)
AC_VO	Voice(音声)

●高度な設定

無線LAN	情報	無線LAN 本体設定	ログアウト
▶ 動作モード	24647		5GHz
▶ 基本設定	モード・アクセスポイント	V V	モード:アクセスポイント
▶ WPS			
▶ セキュリティ	無線LANIC関する高度な設定を行	11 ます。通常は設定を変更する必要はありません。	
> フィルター	フラグメント関値:	2346 (256-2346)	
VLAN	RTS関値:	2346 (1-2346)	
▶ WMM	ビーコン間隔:	100 (20-1000 ms)	
▶ 高度な設定	DTIM送信間隔:	1 (1-255)	
	11n データレート:	自動 🖌	
	プリアンブル :	◎ロングブリアンブル ○ショートブリアンブル	
	CTSプロテクション:	◎自動 ○常に ○なし	
	送信出力:	100 % 💌	
	省電力モード:	○有効 ③無効	
	接続台数制限:	128 (1-128)	
opyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.		_	設定

フラグメント閾値	パケットを分割する際のパケットサイズを 256 ~ 2346 で設定します。
	電波状況が悪い場所では値を低めに設定すると効果的ですが、一般にスループットは低下します。
RTS 閾値	RTS パケットのサイズを 1 ~ 2346 で設定します。
	アクセスポイントは実際のデータを送信する前に、RTS(送信要求)パケットを送信して、データを送信して
	良いか確認しています。パケットのサイズを低めに設定すると、頻繁に RTS パケットが送出されるので、一
	般にスループットは低下します。
ビーコン間隔	ビーコンの間隔を 20 ~ 1000ms で設定します。ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアク
	セスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。間隔を短くして頻繁に送信すると通信品質は上が
	りますが、他の機器との干渉も増えます。
DTIM 送信間隔	ビーコンに対し、どの程度の間隔で DTIM を挿入するかを 1 ~ 255 の間隔で設定します。
	DTIM(delivery traffic indication message)とは省電力モードの無線クライアントに対して、パケッ
	トが送信待ちであることを伝えるメッセージのことです。DTIM はビーコンに含まれて送信されています。
	例えば"2"と設定すると、DTIM が含まれたビーコンと含まれていないビーコンが交互にアクセスポイント
	から送信されるようになります。
11n データレート	IEEE 802.11n で規定されている MCS インデックスを設定します。
	通常は「自動」で使用します。
プリアンブル	「ショートプリアンブル」を選択すると、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、対応していない機器が
	あります。
CTS プロテクション	IEEE 802.11g 規格の無線 LAN と IEEE 802.11b 規格の無線 LAN を同じ無線チャンネルで共存させる
	ために利用する無線フレーム。CTS(clear to send)の合図を受けて IEEE 802.11b 規格の無線 LAN
	クライアントはデータ送信を延期する挙動をとる。「自動」は CTS フレームのリクエストに応じて、「常に」
	は IEEE 802.1 1g 規格の無線 LAN を常に優先に、「なし」 は IEEE 802.1 1g/b 規格の区別なく動作する。
送信出力	電波送信出力レベルを設定します。
省電力モード	無線省電力機能の有効 / 無効を設定する。
	「有効」にした場合、一定時間無線通信がない場合、無線の休止間隔を自動でつくり、消費電力を抑えます。
	無線 LAN クライアント側からの接続があった場合には、自動的に on に復帰します。
接続台数制限	本製品に対して接続可能な無線 LAN クライアント数の上限を設定します。

本体設定

●有線 LAN 設定

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定				
▶ 時刻殿定	同一ネットワーク内のLAN バイスはIPアドレスを固定	クライアントに対しての自動IP7 こする必要があります。	ドレス配信用DHCPサーバーを	行効にするができます。本デ
▶ スケジュール設定				
▶ ログ通知設定	IPアドレスの設定方法	: 固定IPアドル	ス 🚩	
	IPアドレス:	192 . 1	68 . 0 . 137]
Z 0/00-00	サブネットマスク:	255 . 2	55 . 255 . 0]
▶ その他の設定	デフォルトゲートウェイ	: 192 . 1	68 . 0 . 1	1
システム設定	DNSタイプ:	フタティック	*	-
▶ ファームウェア		x27172		7
▶ 管理者パスワード	ブライマリDNSサーバ・	-: 192 . 1	68 . 0 . 201	
	セカンダリDNSサーバ・	-: 0.0	. 0 . 0]
				設定

IP アドレスの設定方法	固定 IP アドレス	本製品の IP アドレスを手動で設定する場合はこちらを選択します。
	DHCP 自動取得	ネットワーク内にブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーがあり、本製
		品の IP アドレスを自動取得する場合、こちらに設定します。
		※起動時に DHCP サーバーが見つからない場合は、LinkLocal アドレス
		(169.254.xxx.xxx) が割り当てられます。
IP アドレス	本製品に割り当てる	Pアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを診	定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイサーバー	-のアドレスを設定します。
DNSタイプ	スタティック	指定した DNS サーバーへの接続を行います。
	ダイナミック	DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する場合に選択します。
プライマリ DNS サーバー	本製品が参照するプラ	ライマリ DNS サーバーのアドレスを設定します。
セカンダリ DNS サーバー	本製品が参照するセカ	コンダリ DNS サーバーのアドレスを設定します。

●時刻設定(タイプ:NTP)

本体設定	 情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定				
▶ 時刻談定	システムの現在の時間を スケジューリング機能、ログ	F動、もしくはNTPサーバーから ズ、E-Mailでのイベント、ログ送f	設定が可能です。 言根能を使用する場合、設定をī	EUく行ってください。
▶ スケジュール設定				
▶ メール通知設定	タイプ:	NTP	*	
CAIMO	参照するタイムサーバー	の設定		
SINMP	手動設定:	0		
▶ その他の設定	ブリセットから選択:	 ntp.nict.jp 	~	
▶ システム設定				「設定」
>ファームウェア				
▶ 管理者バスワード				

参照するタイムサーバーの設定	タイムサーバーを指定し、時刻情報を取得します。
手動設定	参照するタイムサーバーを自分で設定します。
プリセットから選択	プリセットされているタイムサーバーから選択して使用します。

●時刻設定(タイプ: Real Time Clock(RTC))

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定				
▶ 時刻設定	システムの現在の時間を スケジューリング機能、ロ	手動、もしくはNTPサーバーから 5、E-Mailでのイベント、ログ送f	設定が可能です。 言機能を使用する場合、設定をT	FLく行ってください。
▶ スケジュール設定				
▶ メール通知設定	タイプ:	Real Time Clock	(RTC) 🔽	
SNMP	日付:	2010 / 03 (YYYY-MM-DDの用	/ 09 (式で入力してください。)	
▶ その他の設定	115日 -	14 💙 : 45 💙 : 1	10 🔽 (時:分:秒)	
▶ システム設定	-1341 -	PCの時刻を PCの時刻を は	設定する	
▶ ファームウェア				設定
▶ 管理者パスワード				

日付	日付を手動で設定します。(西暦 年 / 月 / 日の形式で入力します。)
時刻	時刻を手動で設定します。(24 時間制 時:分:秒の形式で入力します。)
PC の時刻を設定する	お使いのパソコンから時刻情報を取得し本製品に設定します。

●スケジュール設定

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定				
▶ 時刻設定				
▶ スケジュール設定	作成するスケジュール:	○無線 off ○無	線 on 〇ログメール通知 ③	再起動
▶ メール注意知識定	曜日:			毎日
SNMP	時間:	0 時 0		
▶ その他の設定				設定
▶ 管理者バスワード				
_				

作成するスケジュール	無線 off	スケジュール動作で無線を off にします。	
	無線 on	スケジュール動作で無線を on にします。	
	ログメール通知	ログメールを E-Mail 送信設定している場合、スケジュール動作で E-Mail	
		送信を行います。	
		※あらかじめ、E-Mail 送信設定を行う必要があります。	
		(【E-mail 送信の設定】 (次ページ) 参照)	
	再起動	スケジュール動作で再起動を行います。	
曜日	スケジュール動作させる曜日を選択します。		
[毎日]ボタン	全ての曜日チェックをつけます。		
時間	スケジュール動作させる時刻を設定します。(24 時間制で入力します)		
	※既に作成したスケジュールの前後2分間に他のスケジュールを設定することはできません。		

●ログ通知設定

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN段定				
▶ 時刻設定	ログの送信設定を行いま	す。使用したいログの通知設定を	【有効】にし、設定を行ってくださ	. 1o
スケジュール設定	ログレベル :	●標準 ○詳経	Ŧ	
▶ ログ通知設定	システムログ:	● 有効 ○ 無対	- b	
SNMP	ログサーバー IPアドL	ע ג : 1 92 , 168	. 0 . 250	
▶ その他の設定	E-Mail送信:	○ 有効 ③ 無対	h	
▶ システム設定	イベント通知:	○ 有効 ④ 無対	, Б	
► ファームウェア				設定
▶ 管理者バスワード				

ログレベル	表示もしくは送信するログレベルを設定します。	
	標準	システムログのみ表示します。
	詳細	システムログ+アクセスログを表示します。
システムログ	Syslog サーバーヘログを送信します。	
ログサーバー IP アドレス	転送先の Syslog サーバーのアドレスを IP アドレスで設定します。	
E-Mail 送信	ログメールの E-Mail 送信設定を行います。(以下参照)	
イベント通知	イベントログメールの	D送信設定を行います。(次ページ参照)

E-Mail 送信の設定



SMTP サーバーアドレス	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、
	送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。
SMTP ポート	メール送信に利用する TCP ポート番号を指定します。(デフォルト値は 25 です。)
	ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で 25 番ポートでのメール送信を遮断している場合
	は、適切な番号に変更してください。
認証タイプ	ご契約のメールサーバーが SMTP 認証を行うタイプの場合に設定します。
アカウント	SMTP 認証に用いるアカウントを入力します。
パスワード	SMTP 認証に用いるパスワードを入力します。
E-Mail アドレス	システムログを送信する送信先のメールアドレスを入力します。
送信元アドレス	送信メールの差出人を設定します。
メール送信テスト	正常にメール設定が行えたか、テストメールを送信します。

イベント通知の設定

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定	ログの送信設定を行います。	。使用したいログの通知設定を	【有効】にし、設定を行ってくだき	. 1 ₀
▶ 時刻設定	ログレベル:	◎ 標準 ○ 詳細		
▶ スケジュール設定	システムログ:	○ 有効 ⑧ 無効		
N 口//通知研究	E-Mail送信:	○ 有効 ③ 無効		
E DI	イベント通知:	●有効 ●無効		
 SNMP その他の設定 	イベント内容:	□ 無線 off □ □ 再起動 □:	】無線 on □ ログメール通知 エラー発生時 □ スケジュール] 動作時
	SMTP サーバーアドレス	smtp2.server		
> システム設定	SMTP ポート:	25 (1-	65535), "デフォルト値は25で	す 。"
 ファームウェア 管理者バスワード 	認証タイプ :	⊙tal. ○SMT ○CRAM-MD5	PIZEE ○LOGIN ◎ PLAIN	
_	アカウント:	smtp2		
	パスワード:	smtp2		
	E-Mailアドレス:	E-Mail送付	診同じ送信先に設定する	
	送信元アドレス:	admin2@host		
right (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.	メール送信テスト:	□ テストメールを	送付する	
				-

イベント内容	無線 off	設定画面から、もしくはスケジュール動作で無線を off にした際に、「off」に
		なったことを通知します。
	無線 on	設定画面から、もしくはスケジュール動作で無線を on にした際に、「on」に
		なったことを通知します。
	ログメール通知	ログメール通知の E-Mail 送信が行われた際に、メールが送信されたことを通
		知します。
		※ E-Mail 送信設定が正常に行われている必要があります。
	再起動	再起動動作が発生した際にメールで通知します。
	エラー発生時	本製品になんらかのハードウェアエラーが発生した際にメールで通知します。
	スケジュール動作時	作成済みのスケジュールが実行された際に、スケジュール動作が発生したこ
		とを通知します。
		※スケジュールリストにスケジュールが登録されている必要があります。
SMTP サーバーアドレス	メール送信に利用す	る SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、
	送りたいメールアド	レスに合致するサーバー名を入力してください。
SMTP ポート	メール送信に利用す	る TCP ポート番号を指定します。(デフォルト値は 25 です。)
	ご利用のプロバイダ	がセキュリティ上の理由で 25 番ポートでのメール送信を遮断している場合
	は、適切な番号に変	更してください。
認証タイプ	ご契約のメールサー	バーが SMTP 認証を行うタイプの場合に設定します。
アカウント	SMTP 認証に用いる	5アカウントを入力します。
パスワード	SMTP 認証に用いる	ろパスワードを入力します。
E-Mail アドレス	イベントログメール	を送信する送信先のメールアドレスを入力します。
[E-Mail 送信と同じ送信先に設定	イベントログメール	も E-Mail 送信と同じ送信先にメール送信設定する場合、ボタンを押すとアド
する]ボタン	レスがコピーされま	す。
送信元アドレス	送信メールの差出人	を設定します。
メール送信テスト	正常にメール設定が	行えたか、テストメールを送信します。

• SNMP

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定				
▶ 時刻設定	SNMPは、ネットワーク機	器で監視、管理を行う必要があ	るデバイスを集中管理するために	利用されます。
▶ スケジュール設定	SNMP		無効 🖌	
▶ メール通知設定	SNMPパージョン		全て 🛩	
► SNMP	読み込みコミュニティ		public	
▶ その他の設定	設定コミュニティ		private	
▶ システム設定	システム設置場所		I-O DATA DEVICE, INC.	
> ファームウェア	システム管理者		I-O DATA DEVICE, INC.	
※現まパフロード	Trap		無効 🛩	
	Trap管理デバイスIPT	アドレス		
	Trapコミュニティ		public	

SNMP	SNMP の有効 / 無効を切り替えます。
	SNMP の「v1」、「v2c」に対応し、市販の SNMP マネージャーを使った監視が可能です。
SNMP バージョン	SNMP の対応バージョンを必要に応じて指定します。
	通常は「全て」で使用します。
読み込みコミュニティ	本製品の情報を SNMP マネージャーから読み出す際に使用するコミュニティ名を設定します。
設定コミュニティ	本製品へ情報を SNMP マネージャーから書き込む際に使用するコミュニティ名を設定します。
システム設置場所	設置場所などの詳細情報を設定します。
	32 文字以内の半角英数文字で入力します。
システム管理者	本システムの管理者情報や連絡先などを設定します。
	32 文字以内の半角英数文字で入力します。
Тгар	SNMP Trap を使用するか、しないか選択します。
	トラップ(Trap)と呼ばれるイベント通知機能により、SNMP マネージャーは定期的に本製品の
	状態変化を検知できます。
Trap 管理デバイス IP アドレス	使用する SNMP Trap 管理デバイスの IP アドレスを設定します。
Trap コミュニティ	本製品を示すシステム名称を設定します。

●その他の設定

本体設定	情報 無線LAN	本体設定 ログアウト
▶ 有線LAN設定		
▶ 時刻殿定	デバイス名:	WHG-NAPG/A
▶ スケジュール設定	管理用VLAN設定:	◎ 有効 4094 (1~4094) ⑧ 無効
▶□グ通知設定	IEEE802.1dスパニングツリー:	◎ 有効 ● 無効
SNMP	5GHzと2.4GHzのセパレート:	有効
▶ その他の設定	無線LANローミングアシスト:	● 有効 ○ 無効
▶ システム設定	UPnP:	◎ 有効 ◎ 無効
>ファームウェア	PnP-X:	有効
▶ 管理者バスワード	LLTD :	看効 ④ 無効
	無線LANと有線LANを遮断する:	有効 @ 無効
a de la companya de la	無線接続時は設定画面をひらかせない	: @ 有効 @ 無効
	AirPort Quick Copy :	◎ 有効 ◎ 無効
	AirPort Quick Copy HG :	◎ 有効 ◎ 無効
(C) I-O DATA DEVICE, INC.		設定

デバイス名	本製品の名前
管理用 VLAN 設定	VLAN 使用時に本製品にアクセスできるようにするため「有効」に設定します。
IEEE802.1d スパニングツリー	スパニングツリープロトコルを有効にすると、WDS リピーターなどでアクセスポイント間通信
	を行う場合に、通信が無限ループすることを防ぎます。
5GH z と 2.4GHz のセパレート	5GHz 帯と 2.4GHz 帯を分けて使用したい場合、「有効」に設定します。
無線 LAN ローミングアシスト	子機が他の本機能対応アクセスポイントへローミングするときに適切な移動をできるようにします。
	※ WDS モードで使用中は本機能は有効に機能しません。
UPnP	UPnP を有効にすると Windows OS では管理画面への接続が容易になります。
PnP-X	PnP-X とは、ネットワークでつながっている機器のドライバなどを簡単にインストールするため、
	Windows Rally テクノロジで規定されている技術です。

LLTD	LLTD とは、ネットワーク上に存在する機器がどのようにつながっているかを調べるために
	Windows Rally テクノロジで規定されている技術です。
無線 LAN と有線 LAN を遮断する	WDS リピーターもしくはユニバーサルリピーター機能を使用している際に、本製品の LAN
	ポートからネットワークに接続できなくする機能です。
無線接続時は設定画面をひらかせない	「有効」にすることで、無線 LAN クライアントから設定画面を開けないようする機能です。
AirPort Quick Copy	AirPort Quick Copy 対応機種に設定情報をコピーする際使用します。
AirPort Quick Copy HG	管理ツールを使用して、弊社製アクセスポイントを管理する際に使用します。

●システム設定

本体設定		情報	無線LAN	1	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定						
▶ 時刻設定	設定の)保存、復元が行え;	ます。			
▶ スケジュール設定		設定を保存する	11 (1)	保存		
▶ メール 通知設定		設定を復元する	at in the		参照	翟 復元
SNMP		出荷時設定に戻	ミす :	実行		
▶ その他の設定		再起動:		実行		
▶ システム設定						
▶ ファームウェア						
▶ 管理者バスワード						

設定を保存する	本製品に設定された設定情報を書き出します。
設定を復元する	保存した設定情報を復元します。
出荷時設定に戻す	初期化します。
再起動	再起動を行います。

●ファームウェア

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
▶ 有線LAN設定				
▶ 時刻設定	ファームウェアファイルを遠	決後、【設定】ボタンをクリックし	てください。	
▶ スケジュール設定		ファームウェアバーシ	ヨン:	
▶ メール通知設定		ファームウェアファイル	ŀ	
SNMP			参照	
▶ その他の設定				(17/ 1 7)
▶ システム設定				88.C
▶ ファームウェア				
▶ 管理者バスワード				

[参照]ボタン 更新するファームウェアファイルを選択します。

●管理者パスワード

本体設定	情報	無線LAN	本体設定	ログアウト
► 有線LAN設定				
▶ 時刻殿定	このデバイスにアクセスす	るためのパスワードを変更しま	す。	
▶ スケジュール設定	ログイン名:	admin		
▶ ログ通知政定	現在のパスワードの入	カ :		
SNMP	新しいパスワードの入り	h :		
▶ その他の設定	新しいパスワードの再ジ	入力:		_
▶ システム設定				設定
▶ ファームウェア				
▶ 管理者パスワード				

ログイン名	現在設定されているログイン名が表示されます。
	※初期設定は「admin」です。
現在のパスワードの入力	現在設定されているパスワードを入力します。
	※初期設定パスワードは「IODATA」です。
新しいパスワードの入力	新しいパスワードを入力します。
	※半角英数字 12 文字以内で入力してください。
	※以下の記号も使用できます。
	!#\$%&* = ~ ().?[]{}
新しいパスワードの再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。

困ったときには

アイ・オー・データホームページをご覧ください

http://www.iodata.jp/support/

製品型番などで検索してください。

サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

設定時のトラブル

ランプが点灯しない	70 ページ
ランプの状態について知りたい	70 ページ
[Magical Finder] から本製品が見つからない	70 ページ
設定画面が表示されない	71 ページ
パスワードを入力しても、設定画面が起動しない	72 ページ
パスワードを忘れてしまった	72 ページ
Web ブラウザーで設定画面からログオンが正常に行えない、設定画面が表示されない	72 ページ
設定画面で文字が入力できない	72 ページ
パソコンを IP アドレスなどの自動取得(DHCP クライアント)として設定しているのに、 IP アドレスなどを取得できない	73 ページ
LAN 側の IP アドレスを変更したら接続できなくなった	73 ページ
本製品の SSID や暗号キーの設定値を知りたい	73 ページ

無線 LAN 接続時のトラブル

SSID が検索されない	74 ページ
無線 LAN でインターネットに接続できない	74 ページ
暗号化を使用したら通信速度が低下した	74 ページ
他のアクセスポイントと無線通信できない	74 ページ
設定したのに無線通信できない	75 ページ
無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる	76 ページ
無線 LAN アダプター側のパソコンとの通信速度が遅い、不安定	77 ページ
SKYMENU Class 使用時に接続が途切れる	77 ページ

その他

本製品が起動するまでの時間はどのくらいですか	78 ページ
ルーター機能のないモデムと本製品をつなぎ、パソコンを無線 LAN 接続でインターネットできますか	78 ページ
パソコンの IP アドレスを自動取得にする方法	78 ページ
パソコンの IP アドレスを手動設定(固定設定)する方法	79 ページ

IP アドレスの解放と更新方法

コマンドプロンプトを起動します。

・Windows 8.1 の場合

スタートボタンを右クリックし、[コマンドプロンプト]をクリックして起動します。

・Windows 8 の場合

スタート画面で右クリックし、[すべてのアプリ]→[アプリ]→[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows 7、Vistaの場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を右クリックし、「管理者として実行」をクリックして 起動します。

・Windows XP、2000の場合

[スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を順にクリックして起動します。

② IPCONFIG -RELEASE と入力し、[Enter] キーを押します。IP アドレスなどがすべて 0.0.0.0 になります。

※ "IPCONFIG"と"-RELEASE"の間にはスペースが入ります。

③ IPCONFIG -RENEW と入力し、[Enter] キーを押します。 IP アドレスを再取得します。

※"IPCONFIG"と"-RENEW"の間にはスペースが入ります。

④ IPCONFIG -ALL と入力し、[Enter] キーを押します。IP アドレスをご確認ください。

※"IPCONFIG"と"-ALL"の間にはスペースが入ります。

設定時のトラブル

ランプが点灯しない

原因	《[POWER] ランプが点灯しない場合》
	AC アダプターを正しく取り付けていない。
対処	付属の AC アダプターを取り付けてください。AC アダプターは必ず付属のものをご使用ください。

原	因	《PoE 利用の場合で、[POWER] ランプが点灯しない場合》
対外	见	・IEEE802.1af、IEEE802.1at 対応の PoE 給電装置を接続してください。
		・PoE 給電装置が正常に動作していることをご確認ください。

原因	《[LAN] ランプが点灯しない場合》
	[LAN] ポートから先のパソコンやハブの LAN ケーブルが正しく接続できていない、または、電源が入っていない。
対処	パソコンやハブの接続と電源が入っていることをご確認ください。

ランプの状態について知りたい

対処 【各部の名前】(42ページ)をご覧ください。

[Magical Finder] から本製品が見つからない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか([POWER] ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認して
	ください。(本製品上面の LAN ランプが点灯または点滅していることも確認してください。)
原因	セキュリティー関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティー関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。
	詳しくはセキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
	● Windows 8 のファイヤーウォール機能が有効となっている場合
	以下の手順で Magical Finder での通信を許可する設定をおこなってください。
	①・Windows 8.1 の場合:スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
	・Windows 8 の場合:画面右側の「チャーム」を表示させ、[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。
	②「システムとセキュリティ」を選択し、画面を開きます。
	③「Windows ファイヤーウォール」の[Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可]をクリックします。
	④[設定の変更]をクリックします。
	⑤[別のアプリの許可]([別のプログラムの許可]) ボタンをクリックします。
	⑤一覧から「Magical Finder」を選択し、[追加]ボタンをクリックします。
	⑥「許可されたアプリおよび機能」(「許可されたプログラムおよび機能」) の一覧に「Magical Finder」(magicalfinder.
	exe) が追加されることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
	● Windows Vista、XP Service Pack 2 以降のファイヤーウォール機能が有効となっている場合
	以下の手順で Magical Finder での通信を許可する設定をおこなってください。
	②「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
	③「例外」タブをクリックし、「プログラムの追加」ボタンをクリックします。
	④一覧から「Magical Finder」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
	⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、「OK]ボタンをクリックします。
	いたてWindows のファイヤーウォール機能で制限されない設定となります。

設定画面が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか([POWER]ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認して
	ください。(本製品上面の LAN ランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因 セキュリティー関連のソフトウェアをインストールしている。
 対処 セキュリティー関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

本製品の IP アドレスと、接続しているネットワークの IP アドレスの体系が合っていない。 対処 次の方法で、本製品の IP アドレスを本製品が接続されているネットワークと通信できるものに合わせてください。 ①一時的に本製品と設定用パソコンは接続しないで、ネットワークに接続した状態のパソコンの IP アドレスを確認します。 設定前にメモした設定用パソコンの IP アドレス、サブネットマスクをご確認ください。 IP アドレスが [自動的に取得する] 設定になっている場合は、以下の手順で IP アドレスを確認してください。 1) コマンドプロンプトを起動します。 2) IPCONFIG と入力し、Enter キーを押します。 3) 表示される [IP Address] と [Subnet Mask] をメモしてください。 ②パソコンの IP アドレスを変更します。 設定用パソコンと本製品を LAN ケーブルで接続した状態で IP アドレス、サブネットマスクを変更してください。 ③ Web ブラウザーを起動して、アドレス欄に「http://192.168.0.201」と入力して、Enter キーを押します。 ④下記の設定例を参考に本製品の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。 <IP アドレス> 確認した IP アドレスが「192.168.1.xxx」(xxx は 1 ~ 254)の場合、本製品の IP アドレスは 192.168.1.203 な どに設定します。 ※ xxx と 4 番目の数字 (上の例では 203) が重ならないように設定してください。また、左から3つの数字は同じ値に設定してください。 <サブネットマスク> 確認したサブネットマスクと同じ値に設定します。 ⑤設定用パソコンの IP アドレスを、メモした値に戻します。

 原因
 IP アドレスが正常に取得できていない。

 対処
 現在設定用パソコンで取得している IP アドレスをいったん解放し、再取得します。

 (【IP アドレスの解放と更新方法】(69 ページ)参照)

原因 Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。 対処 Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。

<設定例> [Internet Explorer 6.0] の例

① [Internet Explorer] 画面の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。

②[接続]タブをクリックし、[LAN の設定]ボタンをクリックします。

③すべてのチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

④ [インターネット オプション](または [インターネットのオプション]) へ戻りますので、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。 以上で設定は完了です。本製品の設定が完了したら、プロキシの設定を元に戻してください。

<設定例 > [Mac OS X] の例

① [アップルメニュー] → [場所] → [ネットワーク環境設定 ...] を選択します。

②[プロキシ]タブをクリックし、[Web プロキシ]のチェックを外し、[今すぐ適用]ボタンをクリックします。

③左上の(×)をクリックして画面を閉じます。

以上で設定は完了です。本製品の設定が完了したら、プロキシの設定を元に戻してください。

原因	Web ブラウザーがダイヤルアップする設定になっている。
対処	下記の手順にしたがってください。[Internet Explorer 6.0] を例にしています。
	① [Internet Explorer] 画面の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。
	② [接続] タブをクリックし、[ダイヤルしない] をチェックします。
	以上で設定は完了です。

対処	上記の対処をすべてお試しいただいても改善されない場合は、以下の内容をお試しください。
	①設定するパソコンを変えてみる。
	②設定するパソコンの「TCP/IP」設定で IP アドレスを自動取得する設定を行っている場合は、IP アドレスを固定設定に
	変更してみる。

パスワードを入力しても、設定画面が起動しない

原因	パスワードが間違っている。
対処	正しいパスワードを入力してください。(初期値は、半角大文字で"IODATA"です。大 / 小文字もご確認ください。)
	パスワードを忘れてしまった場合は、下の【パスワードを忘れてしまった】をご覧ください。

パスワードを忘れてしまった

対処	出荷時設定に戻してください。(【初期化する】 (39 ページ)参照)
	パスワードは出荷時設定に戻ります。(すべて大文字で、IODATA)
	また、その他の設定も初期化されますので、再設定してください。

Web ブラウザーで設定画面からログオンが正常に行えない、設定画面が表示されない

対処 一部のセキュリティソフトウェアの中でブラウザの動作をリアルタイムに確認をする機能を有している場合、一部の動作が セキュリティ上の問題と誤検知されている場合がございます。 ご利用時にセキュリティソフトウェアを停止するか、HTTPのセキュリティ監視機能を無効にしてご利用ください。 例)Kaspersky 社 Internet Security の場合、ウェブアンチウイルス機能を無効にしてください。

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。
百日	

対処入力できる文字(半角英数字)かを確認してから入力してください。
パソコンを IP アドレスなどの自動取得(DHCP クライアント)として設定しているのに、IP アドレ スなどを取得できない

原因	ネットワークの設定に問題がある。
対処	本製品の [LAN] ランプが正しく点灯している場合は、以下の対処が考えられます。
	・アドレスの解放と更新を行う。(【IP アドレスの解放と更新方法】(69 ページ)参照)
	・LAN アダプターのドライバを最新のものへ更新する。
	(ドライバの更新方法については LAN アダプターのメーカーへお問い合わせください。)
	・パソコンとの間にスイッチングハブがある場合は、スイッチングハブを初期化する。
	(スイッチングハブの初期化方法についてはスイッチングハブのメーカーへお問い合わせください。)
	・本製品を再起動する。(AC アダプターを抜き差ししてください。)
	・ セキュリティー関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティー関連の
	ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
	これらの方法でも DHCP クライアントとして IP アドレスなどを取得することができない場合は、固定(手入力)でネット
	ワークの設定を行ってください。なお、固定でネットワークの設定を行う場合は、ネットワークアドレスを合わせる必要が
	あります。
	デフォルト値(工場出荷時設定値)で運用する場合は、TCP/IP 設定に以下の値を使用します。
	IP アドレス:192.168.0.2 ~ 192.168.0.254 で、他の機器と重複しない任意の IP アドレス
	サブネットマスク:255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ(ルーターアドレス):192.168.0.1
	DNSアドレス :192.168.0.1

LAN 側の IP アドレスを変更したら接続できなくなった

 パソコンに固定でIPアドレスを設定している場合
 ①パソコンのIPアドレスには、新しく設定した(変更した)ルーターのLAN 側IPアドレスと同じネットワーククラスの IPアドレスを設定してください。
 ②パソコンのゲートウェイ(ルーターアドレス)と DNS アドレスには、新しく設定した(変更した)ルーターのLAN 側 IPアドレスを設定してください。
 ・パソコンに IP アドレスを自動的に取得させている場合 パソコンの再起動、または、パソコンが自動的に取得しているアドレスの解放と書き換えを行ってください。
 (【IPアドレスの解放と更新方法】(69 ページ)参照)

本製品の SSID や暗号キーの設定値を知りたい

対処	本製品に貼付されている定格シールに記載されています。	
		型 番: WHG-NAPG/A
		電 源: 【POE】DC36~57V(typ48V)/9.1W(最大)
		5GHz無線 MACアドレス:00-00-00-00-00 (2.4DS-OF4)
		2.4GHz無線: 00-00-00-00-00 MACアドレス: 00-00-00-00-00 00000000000000000000000
		有線 MACアドレス : 00-00-00-00-00 2の装置は、クラスA情報 技術装置です。この装置を
		S / N : 00-A0-B0-00-00 家庭環境で使用すると電 波妨害を引き起こすこと
		出荷時SSID: [2.4GHz] 000XXX000000 [5GHz] 000XXX000000 (月本が適切な対策を構 ずるよう要求されること
		出荷時留号キー [2.4GHz] 000XXX000000 があります。 VCCLA WPA/PSK/WPA2PSK: [5GHz] 000XXX000000 [5.2/5.3GHz帯無線LANの]
		出荷時PIN(WPS): 【2.4GHz】000XXX000000 使用は、電波法により屋内 【5GHz】 000XXX000000 使用に限定されます。
		な アイ・オー・データ機器 MADE IN TAIWAN M-SEALG10729

無線 LAN 接続時のトラブル

SSID が検索されない

原因	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、アクセスポイントの通信チャンネルを変更してから再度試してください。
原因	お使いの無線 LAN アダブターのドライバーが正しくインストールされていない。
対処	無線 LAN アダプターが正しく動作しているかどうかご確認ください。確認方法については、お使いの無線 LAN アダプター

メーカーへお問い合わせください。

原因	(パソコン内蔵無線 LAN の場合)
	内蔵無線 LAN 機能が無効になっている。
対処	パソコン本体のスイッチや設定ユーティリティーなどで、内蔵無線 LAN 機能が無効(OFF)になっている場合があります。
	スイッチや設定ユーティリティーで内蔵無線 LAN 機能を有効(ON)にしてから設定を行ってください。

無線 LAN でインターネットに接続できない

原因	本製品の無線 LAN 設定と、無線 LAN アダプターに設定した設定が合っていない。
対処	本製品で設定されている下記の設定内容と無線 LAN アダプターの設定内容とが一致していることをご確認ください。
	• SSID
	・暗号化モード
	・暗号キー

原因	セキュリティー関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティー関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティー関連のソ
	フトウェアメーカーにお問い合わせください。

 原因
 本製品の「MAC アドレスフィルター」の設定を有効にしている。

 対処
 接続できない無線 LAN アダプター(無線 LAN 子機) MAC アドレスを本製品に登録し、アクセスを許可する設定にして

 ください。
 【MAC アドレスフィルターを利用する】(26 ページ)

暗号化を使用したら通信速度が低下した

対処
暗号化通信では、送信するデータをすべて暗号化/復号化する必要がありますので、通信速度が若干低下する場合があります。

他のアクセスポイントと無線通信できない

※モードについては、【動作モードについて】(16ページ)をご覧ください。

原因	《本製品をアクセスポイントモードで使用する場合》
	本製品同士を含むアクセスポイント同士の無線通信はできません。

原因	《本製品を WDS リピーターモードで使用する場合》
	【動作環境】(44 ページ)に記載された対応無線 LAN アクセスポイントのみと無線通信できます。
対処	対応の WDS 対応無線アクセスポイントを使用していることを確認し、設定が正しいことをご確認ください。

原因	《本製品を WDS リピーターモードで使用する場合》
	相手機器の無線 LAN の MAC アドレスが正しく登録されていない。
対処	接続する相手機器の無線 LAN 側の MAC アドレスが登録されているか確認してください。
	※無線 LAN 機器によって、無線 LAN 側 MAC アドレス(2.4GHz、5GHz でも異なります)と有線 LAN 側 MAC アド
	レスが異なっていることもあります。該当する MAC アドレスを登録しないと通信が確立しませんので、正しい MAC ア
	ドレスを登録してください。
	※子機と親機の各設定画面で MAC アドレスの登録をお間違えないようご注意ください。
	親機 子機の MAC アドレスを登録します。
	子機 親機の MAC アドレスを登録します。

原因 《本製品をWDSリピーターモードで使用する場合》
 相手機器と「通信方式」・「チャンネル」・「暗号化設定」で一致していないところがある。
 対処 WDSリピーターモードでご利用いただく場合は、相手機器と「通信方式」・「チャンネル」・「暗号化設定」について、お互いの機器が同じ設定になっているか確認してください。

原因	「1 1 a」 「 1 1 n(5GHz)」のチャンネルが合致していない。
対処	お使いの機器が、W52/W53 (36ch/40ch/44ch/48ch/52ch/56ch/60ch/64ch) に対応したもの (ファームウェ
	アのアップデート含む)または W56(100ch/104ch/108ch/112ch/116ch/120ch/124ch/128ch/132ch/
	136ch/140ch) に対応したものであることを確認してください。

設定したのに無線通信できない

原因	無線 LAN アダプター側パソコンの無線の設定が正しくない。
対処	無線 LAN アダプター側のモードがインフラストラクチャ(Infrastructure)になっていることと、SSID が本製品の値と
	同じになっていることを確認してください。

原因 暗号キーの設定があっていない。対処 本製品と通信相手の無線 LAN 機器側の暗号キーの設定を同じ暗号キーにしてください。

原因 内蔵無線 LAN 搭載のパソコンで無線 LAN 接続を有効にするスイッチが無効になっている。 対処 ご使用のパソコンの無線 LAN スイッチがあるかどうかと、スイッチがある場合は有効になっているかをパソコンの取扱説 明書などご覧の上、ご確認ください。

原因 MAC アドレスなどで接続制限されている LAN アダプターから通信している。
 対処 設定している場合は、接続制限を解除してください。(【MAC アドレスフィルターを利用する】(26 ページ))

原因	パソコンの IP アドレスの設定が正しくない。
対処	パソコンの IP アドレスが自動取得 (DHCP) の場合は、DHCP サーバーの電源が入っていることを確認してから、パソコ
	ンの電源を入れてください。
	パソコンの IP アドレスが固定の場合は、本製品の IP アドレスと同一クラスの IP アドレスを設定してください。

原因 電波の状態が悪い。
 対処 無線 LAN 製品と本製品間の距離を短くしたり、障害物を取り除いて見通しをよくしたり、チャンネルを変更してみてください。

原因	「1 1 a」「1 1 n(5GHz)」のチャンネルが合致していない。
対処	お使いの機器が、W52/W53 (36ch/40ch/44ch/48ch/52ch/56ch/60ch/64ch) に対応したもの (ファームウェ
	アのアップデート含む)またはW56(100ch/104ch/108ch/112ch/116ch/120ch/124ch/128ch/132ch/
	136ch/140ch) に対応したものであることを確認してください。

原因	接続しようとしている SSID の「SSID 通知」が[無効]になっており、無線 LAN クライアント側の接続設定が SSID 通
	知無効に対応していない
対机	【無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる】(76 ページ)をご覧ください。

無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる

接続しようとしている SSID の「SSID 通知」が[無効]になっており、無線 LAN クライアント側の接続設定が SSID 通知無効に 対応していません。下のどちらかをお試しください。

方法 [SSID 通知] を [有効] にする場合

対処	設定画面の[無線 LAN]→[セキュリティ]で該当の SSID の「SSID 通知」を[有効]に設定します。この状態でも接
	続できない場合は「接続設定をやり直してください。

<u>方法</u> [SSID 通知] を [無効] にしたままで接続する場合 対処 OS に合わせて設定してください。

Windows 8 の場合

[ネットワークと共有センター] → [新しい接続またはネットワークのセットアップ] で [ワイヤレスネットワークに手動で接続 します] を選び、該当の SSID に接続してください。

その際、以下のチェックボックスにチェックを付けてください。

- ・この接続を自動的に開始します。
- ・ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する
- ※上記操作でも接続できない場合は、「無線 LAN プロファイル削除ツール」で無線 LAN プロファイル(接続設定)を削除して、
 - もう一度設定からお試しください。

http://www.iodata.jp/r/4867

Windows 7/Vista の場合

① [ネットワークと共有センター] → [ワイヤレスネットワークの管理] を開く
 ②該当の接続設定を右クリックし、[プロパティ] をクリック

③以下のチェックボックスにチェックを付けて設定する

Windows 7

- ・このネットワークが接続範囲内に入ると自動的に接続する
- ・ネットワークが名前(SSID)をブロードキャストしていない場合でも接続する

Windows Vista

- ・この接続を自動的に開始します。
- ・ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する

Mac OS X の場合

表示されている SSID を選ぶのではなく、[ほかのネットワークに接続]などの手動入力で接続設定してください。 ※ SSID を選んで接続した場合、SSID 通知を無効にすると接続できなくなります。

iOS の場合

表示されている SSID を選ぶのではなく、[その他]から手動入力で接続設定してください。 ※ SSID を選んで接続した場合、SSID 通知を無効にすると接続できなくなります。 ※[設定]→[Wi-Fi]の「接続を確認」を[オン]にしておいてください。

Android の場合

表示されている SSID を選ぶのではなく、[ネットワークを追加]から手動入力で接続設定してください。 ※ SSID を選んで接続した場合、SSID 通知を無効にすると接続できなくなります。

無線 LAN アダプター側のパソコンとの通信速度が遅い、不安定

之気	電波の状態が悪い。
「処	無線 LAN アダプターと本製品間の距離を短くしたり、障害物を取り除いて見通しをよくしたり、チャンネルを変更してみ
	てください。

原因	ノートパソコンで省電力機能が有効になっている。
対処	省電力機能の設定を無効にしてください。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。)

SKYMENU Class 使用時に接続が途切れる

対処	[本体設定]-[その他の設定] にて無線 LAN ローミングアシストを[有効]に設定してください。
	※接続先のアクセスポイントが全て本機能に対応している必要があります。(2014/6 現在 対応機器:WHG-NAPG/A)
	※接続先のアクセスポイントが同一ネットワーク上にある必要があります。
	※ WDS モードで使用中は本機能は有効に機能しません。

その他

本製品が起動するまでの時間はどのくらいですか

対処 本製品は電源を入れてから起動するまでに約 1 分程度かかります。

ルーター機能のないモデムと本製品をつなぎ、 パソコンを無線 LAN 接続でインターネットできますか

対処 ルーター機能のないモデムの場合は、IP アドレスが 1 つしか割り当てられないため、モデムの下に本製品とさらにパソコ ンをつなぐ環境にすると正常にインターネットができない状態になることがあります。本製品とモデムの間にブロードバン ドルーターを取り付けることをおすすめします。

パソコンの IP アドレスを自動取得にする方法

対処 お使いの OS により、設定方法が異なります。以下をご覧ください。

Windows 8 の場合

- ①コンピューターの管理者のアカウントで Windows にログオンします。
- ②・Windows 8.1 の場合:スタートボタンを右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックします。
- ・Windows 8 の場合:画面右側の「チャーム」を表示させ、[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタス クの表示]をクリックします。
- ③[ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[アダプターの設定の変更]をクリックします。
- ④[ローカルエリア接続]](または[Wi-Fi])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤[ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- ⑥[インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑦ [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、[OK] ボタンをクリックします。
- 8元の画面に戻りますので、[OK] ボタンをクリックします。

Windows 7 / Vista の場合

①コンピュータの管理者のアカウントで Windows にログオンします。

- ②[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。
- ③[ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- ④[ローカルエリア接続](または[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤[ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- ⑥[インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑦ [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、[OK] ボタンをクリックします。

⑧元の画面に戻りますので、[OK] ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

①パソコンの電源を入れます。

- @[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
- ③[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
- [クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンを ダブルクリックして手順5へお進みください。
- ④[ネットワーク接続]をクリックします。
- ⑤ [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の [プロパティ]をクリックします。無線 LAN アダプターから設定している場合は、[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニュー内の [プロパティ]をクリックします。
- ⑥ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- ⑦ [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] にチェックして、[OK] ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合

①パソコンの電源を入れます。

- ② [マイネットワーク] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ] をクリックします。
- ③ [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の [プロパティ]をクリックします。
- ④ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- ⑤ [IP アドレスを自動的に取得する] をチェックし、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] をチェック後、[OK] ボ タンをクリックします。

⑥すべての画面を閉じて、パソコンを再起動します。

Mac OS X の場合

①[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。

② [表示]で、ご使用の LAN アダプター(内蔵 Ethernet など)を選びます。

- ③ [TCP/IP] をクリックします。
- ④ [IPv4 を設定]([設定]) で [DHCP サーバーを参照]を選びます。
- ⑤[今すぐ適用]をクリックします。

パソコンの IP アドレスを手動設定(固定設定)する方法

対処	お使いの OS により、設定方法が異なります。以下をご覧ください。
	設定する値については、以下を参考にしてください。
	● IP アドレス
	ルーターに接続可能な IP アドレスを設定します。
	ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合は、192.168.0.xxx
	(xxx が他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターが DHCP サーバーになっている場合やネットワー
	ク上に別途 DHCP サーバーがある場合は、DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの範囲と重複しない値を設定してく
	ださい。)
	●サブネットマスク
	255.255.255.0 を設定します。
	●デフォルトゲートウェイ
	ルーターの IP アドレスを指定します。

(例:ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合は、このアドレスを設定する)

Windows 8 の場合

①コンピューターの管理者のアカウントで Windows にログオンします。

- ②・Windows 8.1 の場合:スタートボタンを右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックします。
 - ・Windows 8 の場合:画面右側の「チャーム」を表示させ、 [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワークの状態とタス クの表示] をクリックします。
- ③[ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[アダプターの設定の変更]をクリックします。
- ④[ローカルエリア接続](または[Wi-Fi])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤[ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- ⑥[インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑦[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面で[次のIPアドレスを使う]にチェックを入れ、 IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。
- ⑧ [次の DNS サーバーのアドレスを使う]にチェックを付けて、[優先 DNS サーバー]にルーターの IP アドレスを入力します。
 (例:ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合は、このアドレスを設定する)
- ⑨入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

①コンピュータの管理者のアカウントで Windows にログオンします。

②[スタート](→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

③[ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。

④[ローカルエリア接続](または[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑤[ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。

◎[インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑦[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面で[次のIPアドレスを使う]にチェックを入れ、 IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。

⑧ [次の DNS サーバーのアドレスを使う]にチェックを付けて、[優先 DNS サーバー]にルーターのIP アドレスを入力します。
 (例:ルーターのIP アドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

⑨入力後、[OK] ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

Windows XP の場合

①コンピュータの管理者のアカウントで Windows にログオンします。

②[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、[ネットワークの接続]をクリックします。

- ③[ローカルエリア接続](もしくは、[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
- ④[接続の方法]にLAN アダプターの名称が表示されていることを確認後、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、
 「プロパティ]をクリックします。
- ⑤[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面で[次のIPアドレスを使う]にチェックを付けて、IPアドレス・ サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。

◎ [次の DNS サーバーのアドレスを使う]にチェックをして、[優先 DNS サーバー]にルーターのIP アドレスを入力します。
 (例: ルーターのIP アドレスが 192.168.0.1 の場合は、このアドレスを設定する)

⑦入力後、[OK] ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

Windows 2000 の場合

①コンピュータの管理者のアカウントで Windows にログオンします。

- ②[マイネットワーク]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
- ③[ローカルエリア接続]を右クリックしメニュー内の[プロパティ]をクリックします。
- ④[接続の方法]にLAN アダプターの名称が表示されていることを確認後、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、
 [プロパティ]をクリックします。
- ⑤[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面で[次のIPアドレスを使う]にチェックを入れ、IPアドレス・サ ブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。
- ◎ [次の DNS サーバーのアドレスを使う]にチェックを付けて、[優先 DNS サーバー]にルーターの IP アドレスを入力します。 (例:ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合は、このアドレスを設定する)

Mac OS X の場合

①[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。
②[表示]で、ご使用のLAN アダプター(内蔵 Ethernet など)を選びます。
③[IPv4を設定]([設定])で[手入力]を選択します。
④ IP アドレス・サブネットマスク・ルーター・DNS サーバーの設定をします。
⑤[今すぐ適用]をクリックします。

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサー バー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間 を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。



お問い合わせについて



またお問い合わせの前に、無線 LAN の安定運用のため

\checkmark	空いている電波帯域に設定している
	無線 LAN アダプター(内蔵無線 LAN を含む)のドライバーおよびユーティリティーの最新版をインストール
	し直ししてある
\checkmark	Windows Update をおこなってある
\checkmark	Bluetooth やワイヤレス電話の使用を一時的に停止している
\checkmark	クライアントが 11a 対応で 11g/b 帯域で使用している場合、11a 帯域へ変更している
	接続しているクライアント数が8台以上ある場合、クライアント数を減らして確認している、もしくはアクセス
•	ポイントを追加した
$\overline{}$	無線 LAN アダプターが USB や PC カードタイプの場合、無線 LAN アダプターを異なる USB ポートやスロッ
	トに挿し直している
	セキュリティソフトをインストールしている場合、一時的に停止もしくはセキュリティレベルの変更をおこなっ
	ている
\checkmark	不要な常駐プログラムを解除している
\checkmark	ノートパソコンを使用している場合、パソコンの AC アダプターをつなげている



<ご用意いただく情報 > 製品名 / パソコンの型番 /OS (Windows、Mac OS)

修理について



- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料) 金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは 消去されます。何卒、ご了承ください。 バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなっ てください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- ●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… http://www.iodata.jp/support/after/

【ユーザー登録はこちら】…<u>https://ioportal.iodata.jp/</u>

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製 品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。 (例:ABC1234567ZX)

【IO カタログについて】 最新ニュースや電子カタログをスマホで見られる 「IO カタログ」アプリ!パソコンからも閲覧 OK。 無料ダウンロードはこちら。 http://catalog.iodata.jp/sp/

【本製品の廃棄について】 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【ご注意】

- 1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
- したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、 及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使 用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人 身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システ ムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。 また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予め ご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】 ・記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。